

旧パソコンから 新パソコンへ入れ替えられる方へ

《Mercury-LAVIS のデータ・設定の移行手順》

旧パソコンから→新パソコンへの移行の流れ

1. 旧パソコンでインストール方法を確認します



- スタンドアロン
- サーバークライアント

2. 新パソコンに、データ・設定を移行します



- データ・設定のバックアップ
- プログラムのインストール
- データ・設定のリストア（復元）

Mercury-LAVIS のインストール方法の種類と確認方法

インストール方法の種類

Mercury-LAVIS のインストール方法には、以下の2種類があります。
ご使用になる環境に合ったインストール方法を選択してください。

スタンドアロン

すべてのファイルを、1台のコンピューターにインストールします。

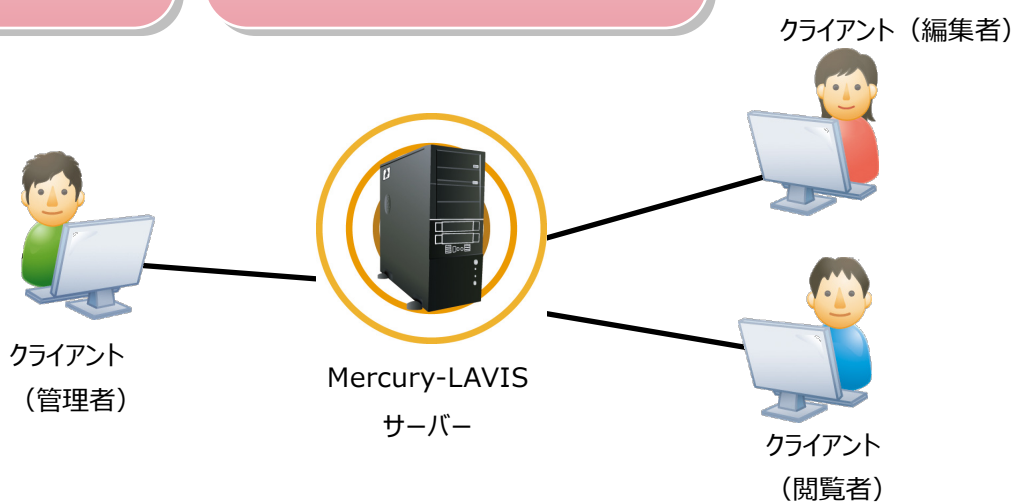
1台のコンピューターで、地籍データを編集します。



サーバークライアント

地籍データをサーバーで管理します。

複数のクライアントで地籍データを編集します。



インストール方法の種類の確認方法

ご利用中のMercury-LAVISの「インストール方法」を確認します。
インストール方法によって、現場データのバックアップ・リストアの手順が変わります。

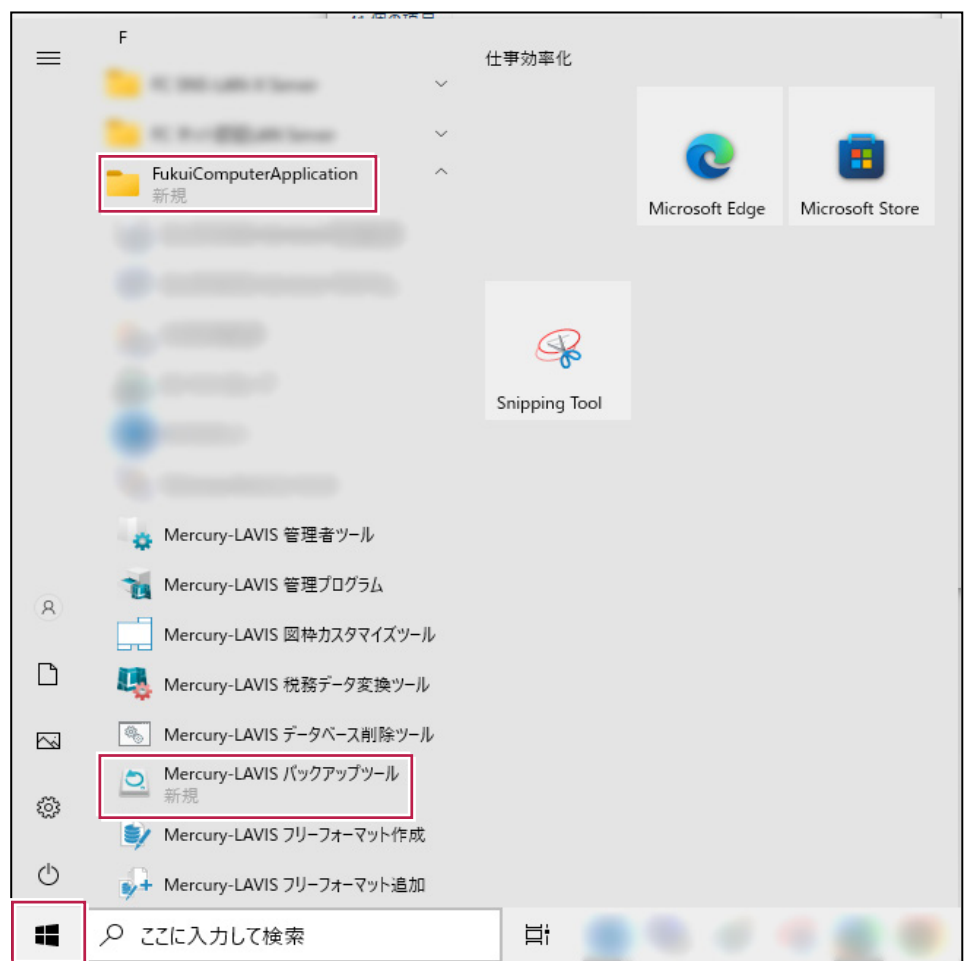
- 1 Mercury-LAVIS サーバーをインストールしたサーバーマシンのデスクトップ上に
・Mercury-LAVIS バックアップツール
があるか、ないか



- 2 スタートメニューにて
[FukuiComputerApplication] —
[Mercury-LAVIS Ver.〇 バックアップツール]
があるか、ないか

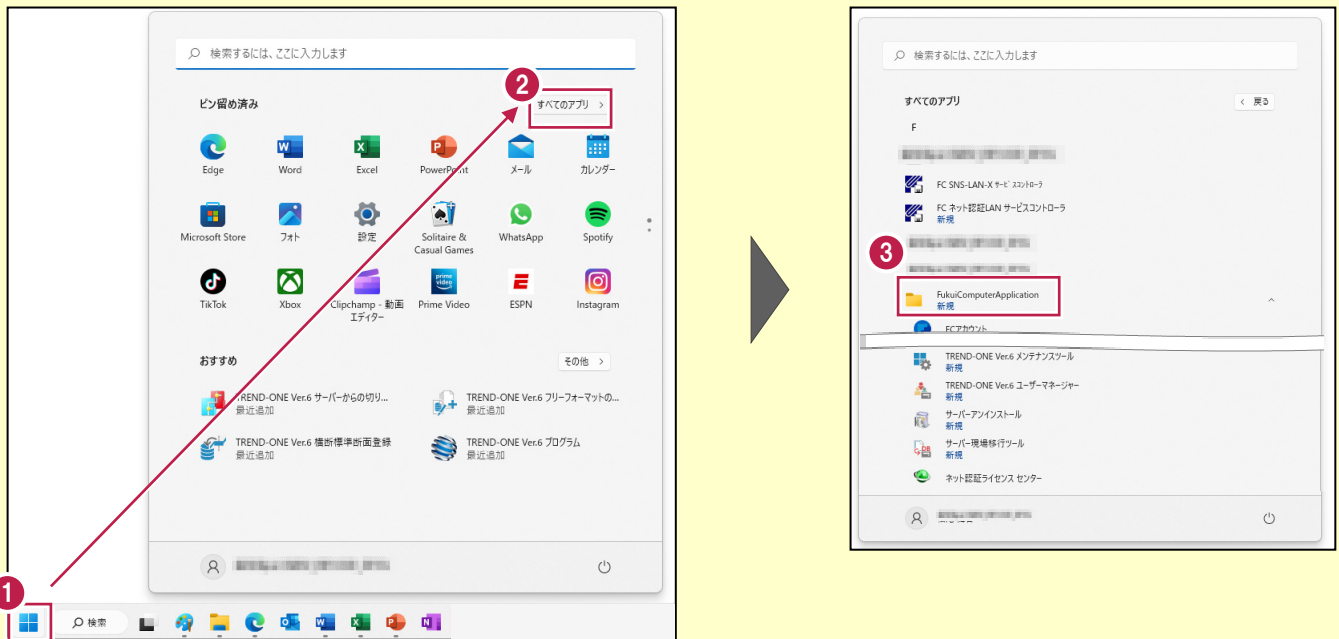
ある場合→サーバークライアント

ない場合→スタンドアロン

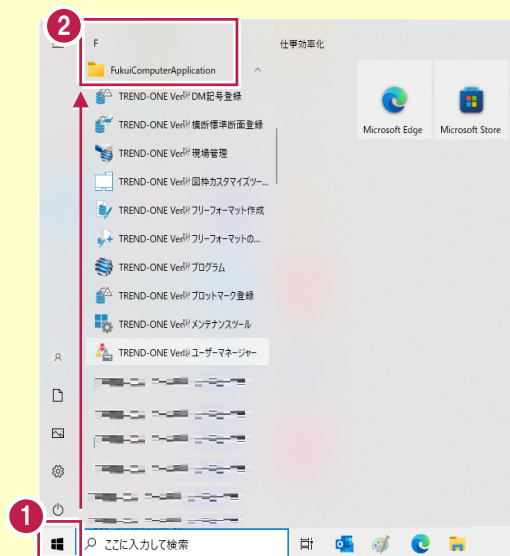


【補足】 スタートメニューから [FukuiComputerApplication] を確認する手順

● Windows11の場合



● Windows10の場合



新しいパソコンへの、データ・設定の移行の流れ

スタンドアロン用



旧パソコンでの作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除

新パソコンでの作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ Mercury-LAVIS のインストール
- ⑤ プログラムの起動
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定

スタンドアロン用



旧パソコンでの作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除



旧マシンでの作業

1

データ・設定のバックアップ

まず、旧パソコンのMercury-LAVISで、「地区」・「設定」・「ユーザー定義帳票」・「相続関係図」のデータをバックアップします。

1-1 地区データをバックアップする

地区データ（事務支援、公図CAD、地籍計算・CAD）をバックアップする手順です。
バックアップファイルの拡張子は「.lvx」です。

以下のいずれかの方法でバックアップします。

1-1. 地区データの一括バックアップ（Ver.4以降）

※ Ver.4以降は、地区データの一括バックアップが可能です。

1-2. サーバーツールによる地区データの一括バックアップ

※ サーバークライアントインストールしている場合は、バックアップツールで一括バックアップすることができます。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [バックアップ]
- [地区（一括）] をクリックします。



2 [地区の一括バックアップ] ダイアログが表示されます。

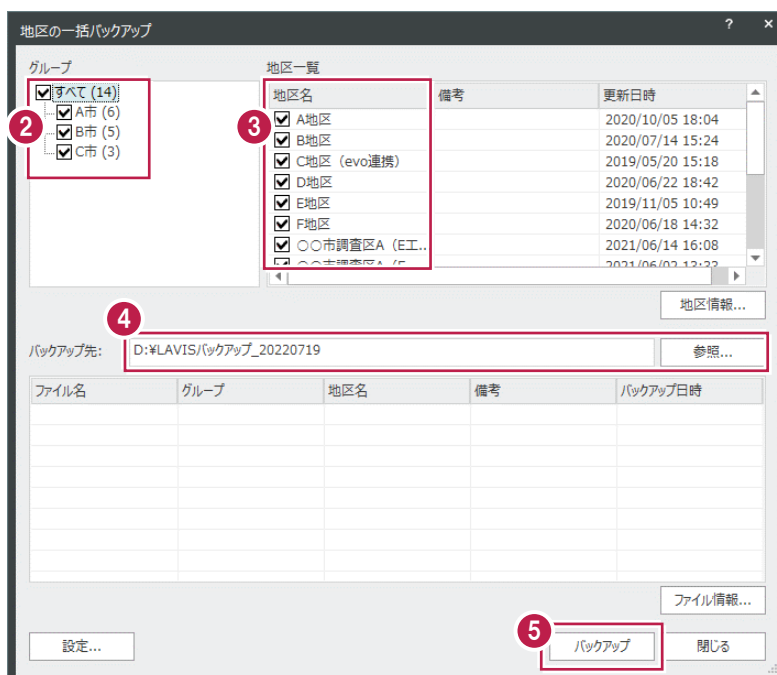
[グループ] で、バックアップするグループのチェックを ON にします。

3 [地区一覧] で、バックアップする地区のチェックを ON にします。

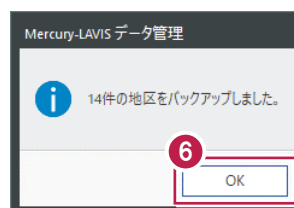
4 [参照] をクリックして [バックアップ先] を指定します。

5 [バックアップ] をクリックします。
一括バックアップが開始されます。

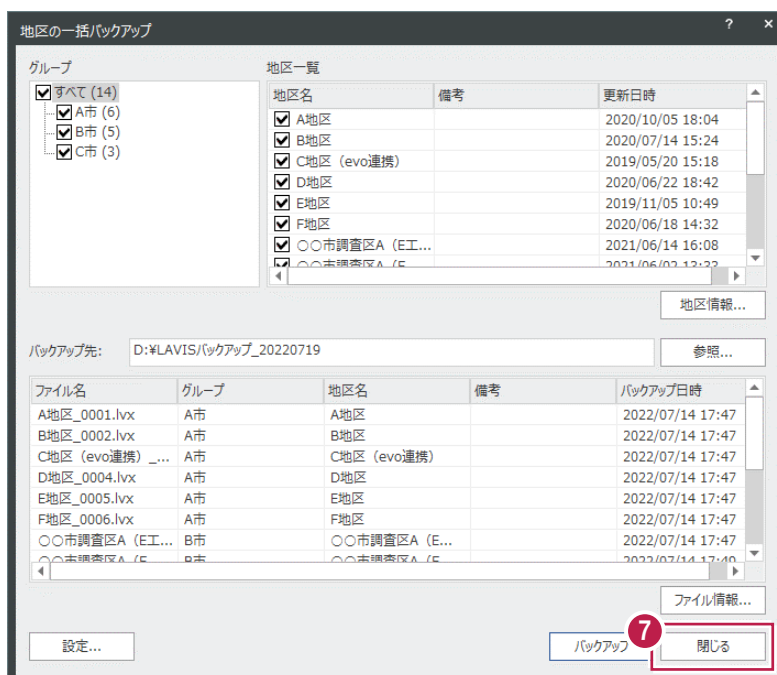
※ バックアップするデータによっては、時間がかかる場合があります。



6 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



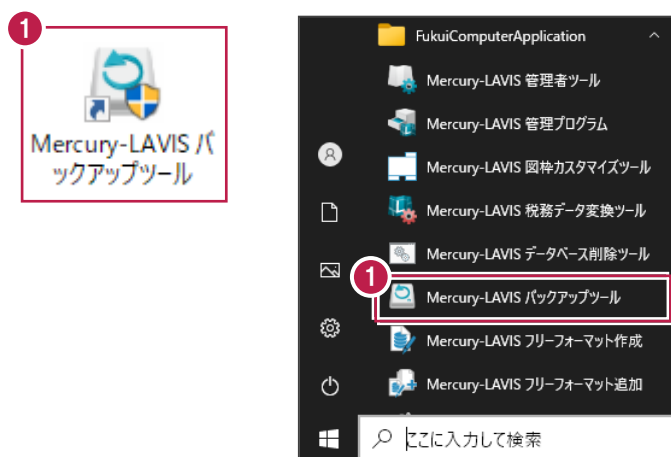
7 [閉じる] をクリックして、終了します。



1-2 サーバーツールによる地区データのバックアップ^① (サーバクライアントインストールしている場合のみ)

- ① デスクトップの [Mercury-LAVIS バックアップツール] をダブルクリックします。

または Windows の「スタート」メニューの [FukuiComputerApplication] - [Mercury-LAVIS バックアップツール] をクリックします。



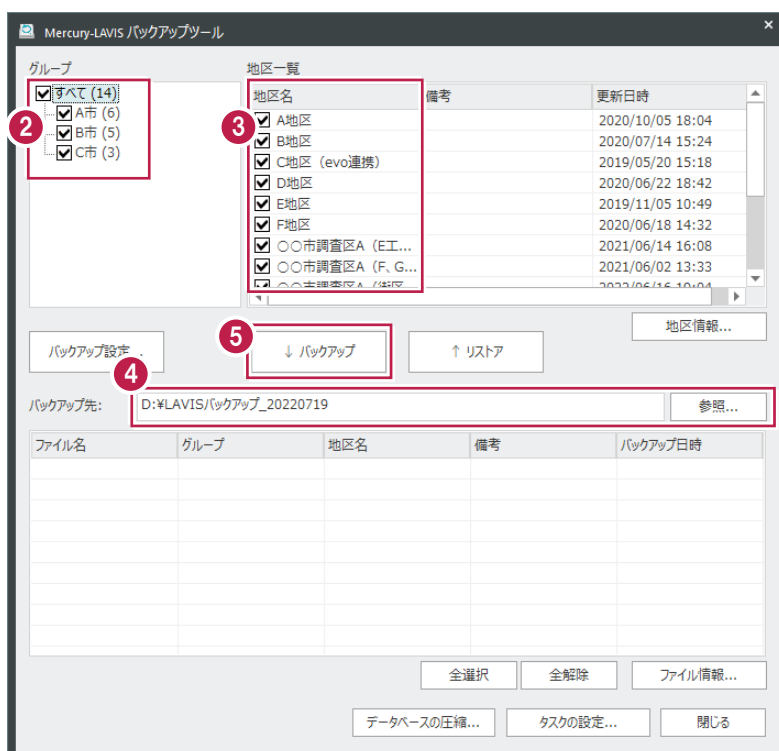
- ② 「バックアップツール」が起動します。
[グループ] で、バックアップするグループのチェックを ON にします。

- ③ [地区一覧] で、バックアップする地区のチェックを ON にします。

- ④ [参照] をクリックして [バックアップ先] を指定します。

- ⑤ [バックアップ] をクリックします。
バックアップが開始されます。

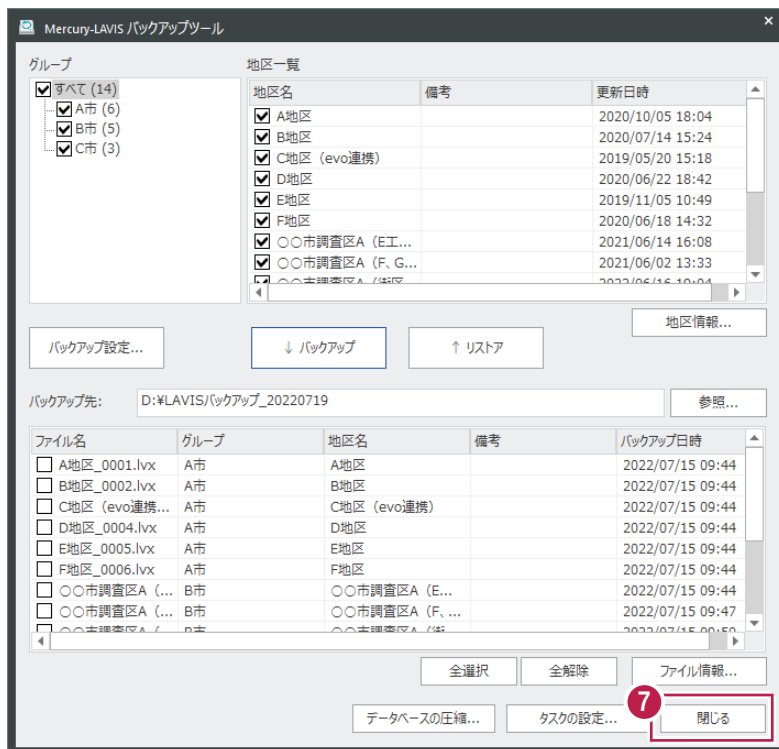
※ バックアップするデータによっては、時間がかかる場合があります。



6 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



7 [閉じる] をクリックして、終了します。



1-3 全設定のバックアップ

各種設定やマスターファイル、レジストリをバックアップする手順です。
各種設定やマスターファイルのバックアップファイルの拡張子は「.lvm」です。
レジストリのバックアップファイルの拡張子は「.lvg」です。

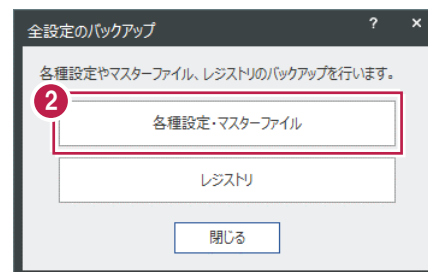
※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [バックアップ] - [全設定] をクリックします。



- 2 [全設定バックアップ] ダイアログが表示されます。

[各種設定・マスターファイル] をクリックします。



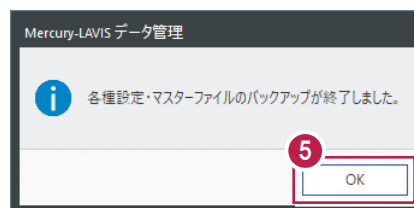
- 3 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

保存先、ファイル名を指定します。



- 4 [保存] をクリックします。
バックアップが開始されます。

- 5 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



- 6 [レジストリ] をクリックします。



- 7 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

保存先、ファイル名を指定します。

- 8 [保存] をクリックします。
バックアップが開始されます。



- 9 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



- 10 [閉じる] をクリックして、終了します。



1-4 ユーザー定義帳票のバックアップ

ユーザー定義帳票とカスタマイズ帳票をバックアップする手順です。

Mercury-LAVISのデータフォルダー内の「CustomForm」フォルダー内のファイルがバックアップされます。

複数の帳票ファイルが1つのファイルに圧縮されます。

バックアップファイルの拡張子は「.lvf」です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [バックアップ]
- [ユーザー定義帳票] をクリックします。



- 2 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

保存先、ファイル名を指定します。

- 3 [保存] をクリックします。

バックアップが開始されます。



- 4 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



1-5 相続関係図のバックアップ

「相続関係図プログラム」のデータをバックアップする手順です。

Mercury-LAVISのデータフォルダー内の「InheritData」フォルダー内のファイルがバックアップされます。

複数の相続関係図データが1つのファイルに圧縮されます。

バックアップファイルの拡張子は「.lvi」です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [相続関係図]
- [バックアップ] をクリックします。

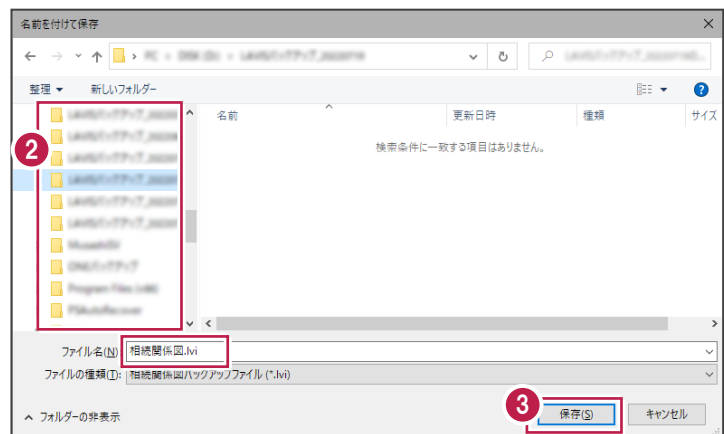


- 2 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

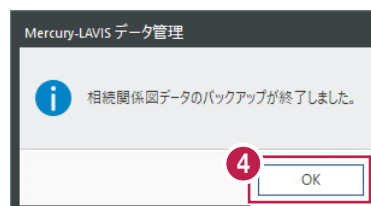
保存先、ファイル名を指定します。

- 3 [保存] をクリックします。

バックアップが開始されます。



- 4 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。





旧マシンでの作業

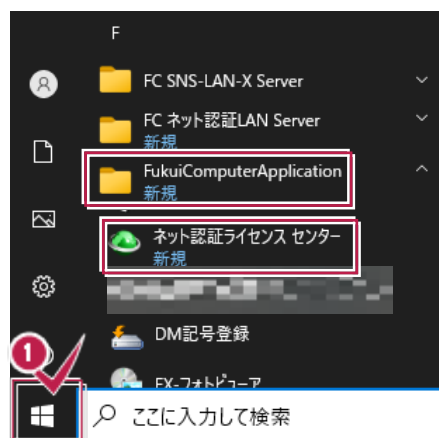
2 ライセンスの解除

旧パソコンで使用している「ライセンス」を解除します。
ライセンスを解除しないと、新パソコンでライセンスを認証することができません。

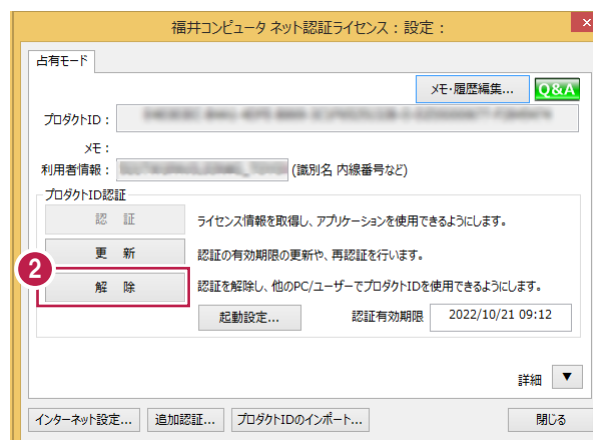
2-1 ネット認証ライセンス（占有）を解除する

- 1 画面右下のタスクバーの通知領域にある、「FC ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックします。

もしくは、スタートメニューから、
[FukuiComputerApplication] -
[ネット認証ライセンスセンター] を起動します。



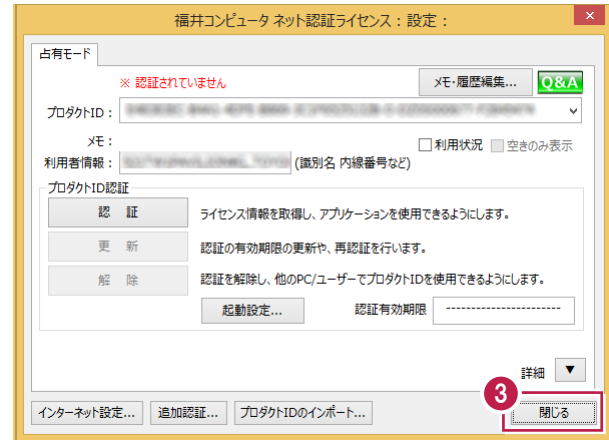
- 2 ネット認証ライセンスの「設定」画面が表示されます。
[解除] を押すとネット認証が解除されます。





③ [閉じる] をクリックして画面を閉じます。

以上で、「ネット認証ライセンス（占有）の解除」は完了です。

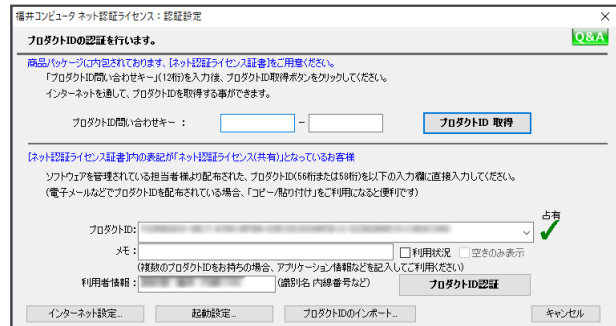


補足

ネット認証ライセンスセンターのアイコンが右図のように黒くなっている場合は、ライセンスは「解除」済みです。



また、ネット認証ライセンスセンターを起動したときに右図のように [認証設定] の画面が表示された場合は、ライセンスは「解除」済みです。



スタンドアロン用



新パソコンでの作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ Mercury-LAVIS のインストール
- ⑤ プログラムの起動
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定



新マシンでの作業

3

FC アカウントのインストール

新パソコンに、Mercury-LAVISの最新プログラムをダウンロードするのに必要な「FCアカウント」をインストールします。

3-1 FCアカウントをダウンロードしてインストールする

弊社WEBサイトから、「FCアカウント」をダウンロードしてインストールします。

※コンピューターが再起動されますので、実行中のアプリケーションは、全て終了させておいてください。

- 1 インターネットの検索サイトで、「FC アカウント」を検索します。



- 2 検索結果の「FC アカウントご利用案内 | 福井コンピュータグループ」をクリックします。
検索結果に表示されない場合は、以下のアドレスを直接ブラウザに入力してください。

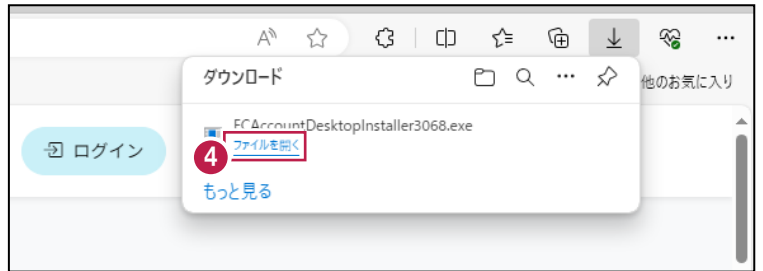
<https://hd.fukuicompu.co.jp/fc-account/info.html>



- 3 「FC アカウントをダウンロード」をクリックします。



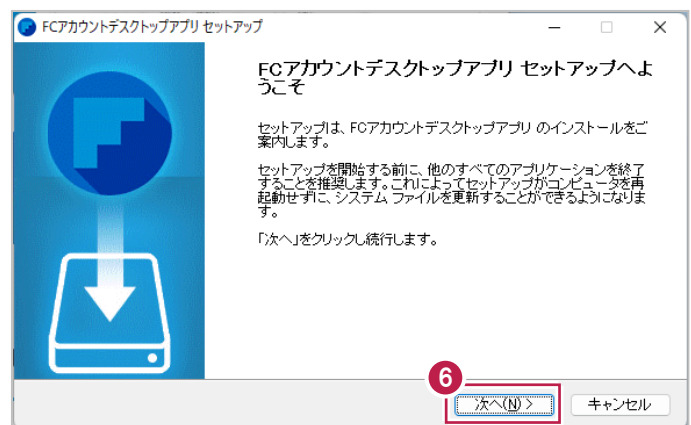
- 4 ファイルのダウンロードの画面が表示された場合は、「ファイルを開く」を押します。



- 5 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

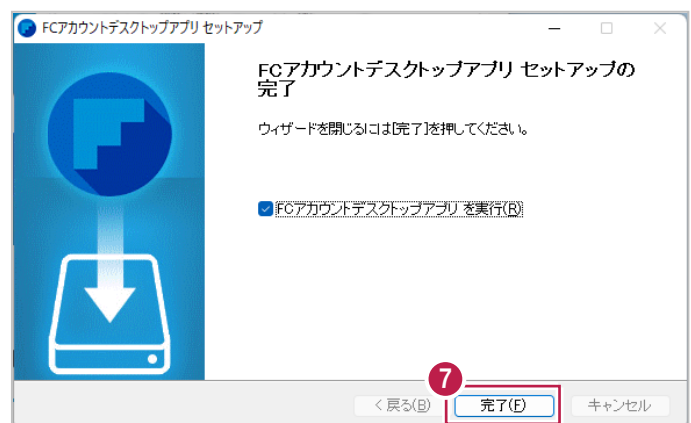


- 6 FC アカウントのセットアップが開始されます。
画面にしたがって、セットアップをおこなってください。



- 7 インストールが完了したら、「完了」をクリックします。

※ [FC アカウントデスクトップアプリを実行] がオンの状態で「完了」をクリックすると、自動的に FC アカウントのデスクトップ版が起動されます。



※ FC アカウントのデスクトップ版をインストールすると、デスクトップに FC アカウントを起動するアイコンが登録されます。



※ インストールしたデスクトップアプリ版で、FC アカウントを登録して製品をインストールします。

8 FCアカウントデスクトップ版で次の画面が開きます。「次のステップへ」を押します。

※ 他のパソコンで FC アカウントを登録済みの方は、「すでに FC アカウントをお持ちの方はログインへ」よりログインして、「インストール・バージョンアップ」より製品をインストールできます。



9 FC アカウントデスクトップ版を利用するお客様のメールアドレスを入力して、「確認コードを送信」を押します。

[次へ] をクリックして、ユーザー登録をおこないます。



10 入力したメールアドレス先にメールが届きます。メールに書かれているコードを「確認コード」に入力して「コードの確認」を押します。



- 11 「新しいパスワード」「パスワードの確認入力」
（確認のため2回入力）「姓」「名」を入力し、
利用規約を確認して「利用規約に同意」にチェック
を付け「作成」を押します。

メールアドレスを確認しました。引き続きパスワード、
姓、名を入力して「作成」を押してください。

11

新しいパスワード

パスワードの確認入力

姓

名

利用規約に同意（※ページ下部参照）

作成

< 戻る

- 12 「お客様情報の確認」を押します。

ご利用中の当社製品シリアルから
当社でお預かりしているお客様情報と連携します

12

お客様情報の確認

< HOME

- 13 右記の画面が表示されますので、保守サービス
中をご契約中の場合は「こちら」をクリックします。

シリアルが見つかりませんでした。

当社製品をご利用の際は、一度お試しください。
保守サービスをご契約中の方は「こちら」で当社製品をインストールできます。

13

お客様情報のご照会に関するお問い合わせはこちら

< HOME

- 14 「ユーザーコード」と「製品シリアル」を入力して
「製品を表示する」を押します。

HOME > 保守契約プログラムのインストール

④ 保守契約プログラムのインストール

ユーザーコードと製品シリアルを入力してください。
インストール可能な製品が表示されます。
※ユーザーコードと製品シリアルについては [こちら](#)

14

製品を表示する

※以上で、「FC アカウントのインストール」は完了です。



新マシンでの作業

4

Mercury-LAVIS のインストール

新パソコンにインストールした FC アカウントを利用して、Mercury-LAVIS を新規インストールする手順を解説します。

4-1 全体ファイルの保存

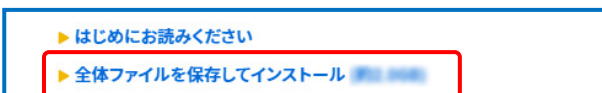
Mercury-LAVIS の全体ファイルをダウンロードして保存します。

※ ご利用の通信環境、時間帯によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
そのようなときは、別の時間帯で再度お試しください。ダウンロードを中止しても、また続きから再開されます。

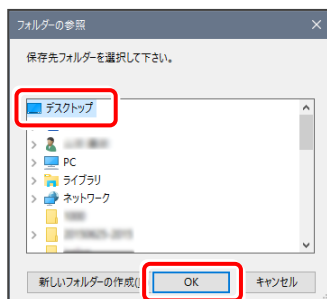
1. 「インストール・バージョンアップ」のページにある Mercury-LAVIS の「インストール」ボタンをクリックします。



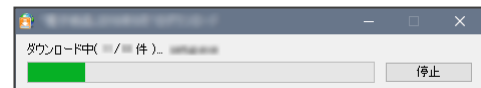
メニューが表示されますので、「全体ファイルを保存してインストール」をクリックします。



2. ダウンロードする全体ファイルの保存先（デスクトップなど）を指定して、[OK] をクリックします。

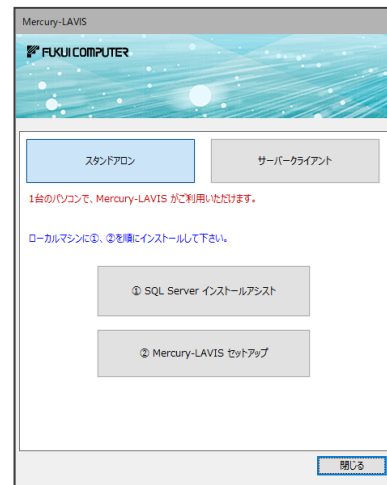


3. ダウンロードが開始されます。



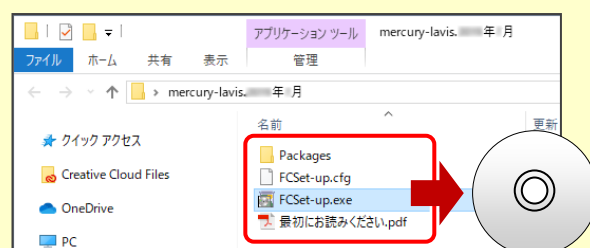
※ ダウンロードを中止する場合は、上記画面で [停止] をクリックしてダウンロードを一時停止してから、右上の [x] ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

4. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。



他のコンピューターで、ダウンロードした全体ファイルを使用する場合は

保存した全体ファイルを、エクスプローラーなどで DVD や USB メモリに書き込んでください。

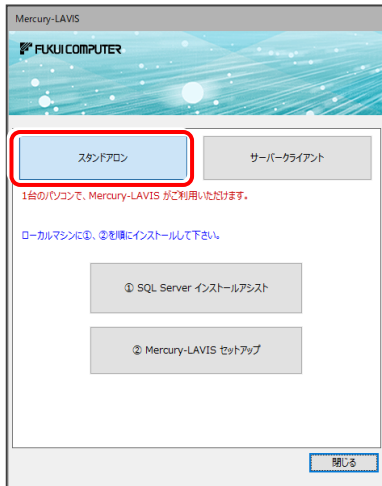


4-2 プログラムのインストール

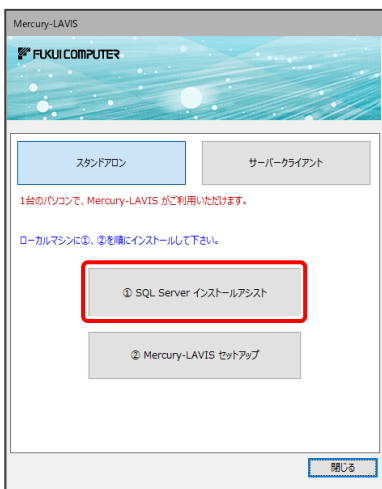
保存した全体ファイルを利用して、プログラムをインストールします。

Step1 | SQLServer インストール

1. [スタンドアロン] タブを選択します。



2. [① SQLServer インストールアシスト] ボタンを押します。

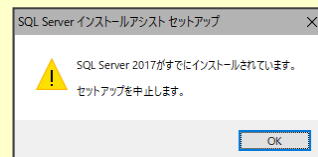


インストールアシストが不要な場合があります

※ コンピューターに、既に製品版の「SQLServer」がインストール済みの場合は、「インストールアシスト」でSQLServerをインストールしないでください。
「Step2 Mercury-LAVIS インストール」へ進んでください。

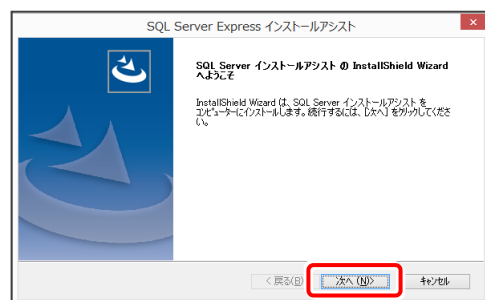
※ 「インストールアシスト」でSQLServerをインストールする必要がない場合は、「セットアップ（インストール）を中止します。」とメッセージが表示されます。
「Step2 Mercury-LAVIS インストール」へ進んでください。

メッセージ例



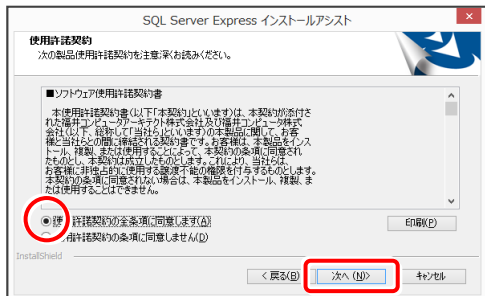
3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

- ※ 画面は、環境によって異なる場合があります。
- ※ インストールには時間がかかる場合があります。

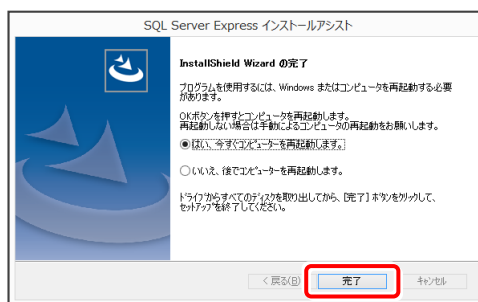
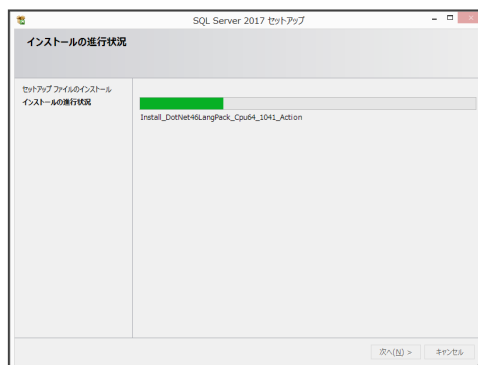
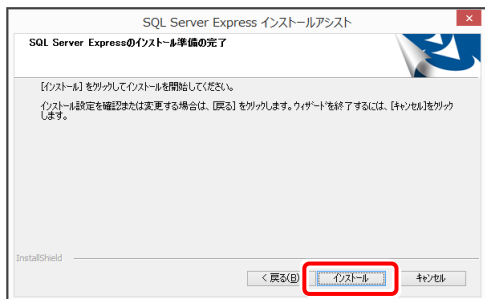
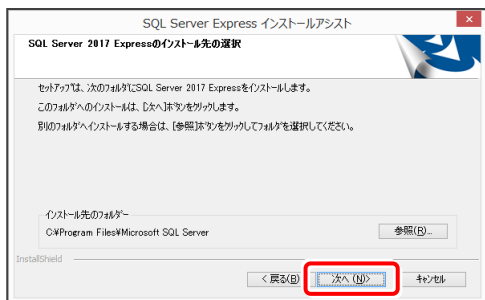


(次ページへ続く)

【使用許諾契約の全条項に同意します】を選択します。



プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



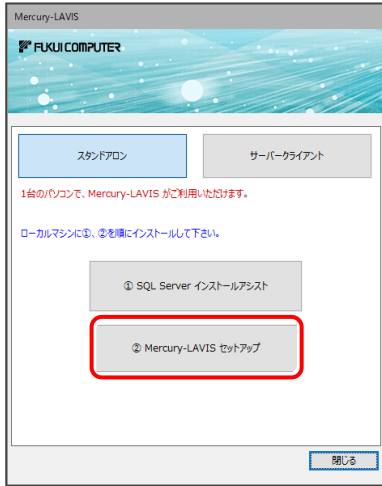
※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | Mercury-LAVIS インストール

1. セットアップ画面の

〔② Mercury-LAVIS セットアップ〕 ボタンを押します。



2. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



〔上記の全条項に同意します〕 をチェックして、〔次へ〕 を押します。



コンピューターの時計とインストール先フォルダーを確認します。必要があれば、変更してください。



〔プロテクト〕 が「ネット認証ライセンス：（占有）」であることを確認して、〔次へ〕 を押します。



プロテクトが「ネット認証ライセンス：（占有）」以外になっている場合は

〔「プロテクト」タイプを変更する〕 ボタンから表示されるダイアログで、「ネット認証」の「占有」を選択します。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。

プログラムのインストールが開始されます。



確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動します。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-LAVIS が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考してください。

再起動後に「FCアカウント」の画面が表示された場合は

FCアカウントの登録は、プログラムの初回起動後におこないます。

ここではまだ何もしないで、次の手順に進んでください。



以上で、プログラムの新規インストールは完了です。



新マシンでの作業

5

プログラムの起動

新パソコンでプログラムを起動して、管理者の登録とライセンスの認証をおこないます。

※プロダクト ID の認証時は、インターネットに接続された環境が必要です。

5-1 「管理者ツール」の起動

以前に登録しているユーザーは、バックアップをしても新しいサーバーやパソコンには引き継がれません。

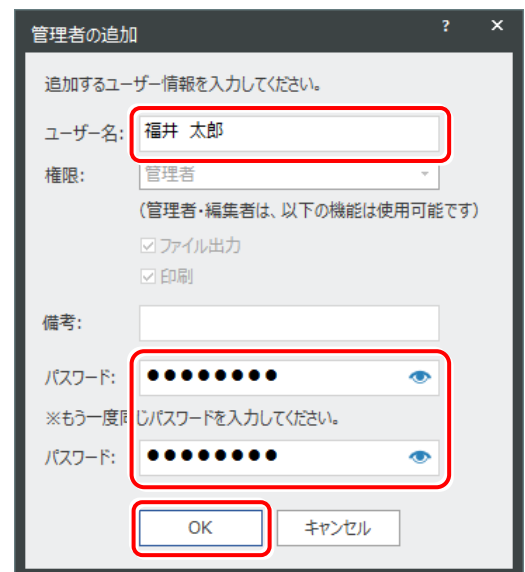
そのため、新しいサーバー/パソコンで「Mercury-LAVIS」を利用するには、まず管理者の方が「管理者ツール」を起動して、管理者や使用するユーザーを登録する必要があります。

(※ 管理者以外の方は、「5-2. 「管理プログラム」の起動」にお進みください。)

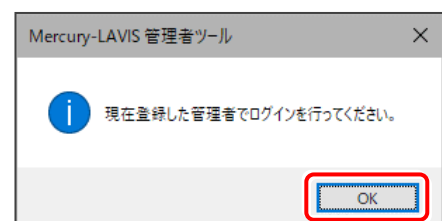
1. デスクトップの [Mercury-LAVIS 管理者ツール] のアイコンをダブルクリックして起動します。



2. 管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力して、[OK] をクリックします。



3. 確認メッセージの [OK] をクリックします。



(次ページへ続きます)

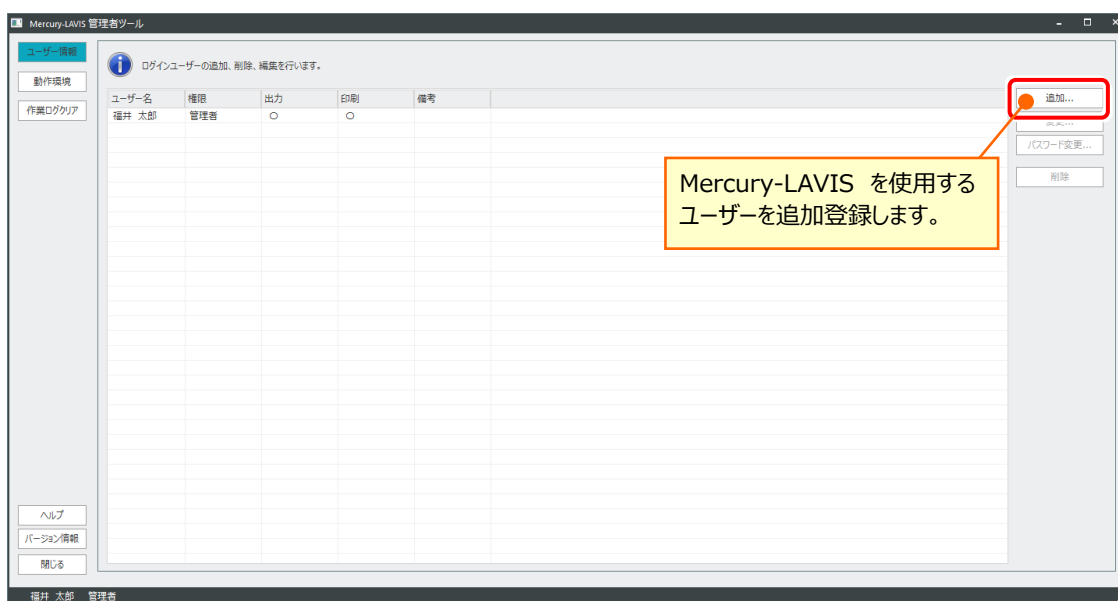
4. 先ほど登録した管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力して、[SignIn] をクリックします。

ユーザー名
福井 太郎

パスワード
●●●●●●●●

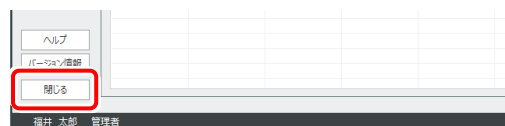
SignIn

5. 「管理者ツール」が起動します。



- Mercury-LAVIS を使用可能なユーザーが、一覧表示されます。
- 複数人で Mercury-LAVIS を使用する場合は、[追加] ボタンでユーザーを追加登録します。
- 「管理者ツール」を起動できるのは、権限が「管理者」のユーザーのみです。

6. Mercury-LAVIS を使用するユーザーの登録を終えたら、[閉じる] をクリックして、「管理者ツール」を終了します。



続いて 次ページ「5-2. 「管理プログラム」の起動」に進みます。

5-2 「管理プログラム」の起動

管理者と仕様するユーザーの登録を終えたら、「管理プログラム」を起動します。

1. デスクトップの「Mercury-LAVIS 管理プログラム」のアイコンをダブルクリックして起動します。
2. ライセンスの確認がおこなわれます。



● プロダクトID認証のメッセージが表示された場合

ネット認証ライセンス（占有）を使用する場合は、「はい」を押します。

続いて下記手順を参照し、ネット認証ライセンスのプロダクトIDを認証します。

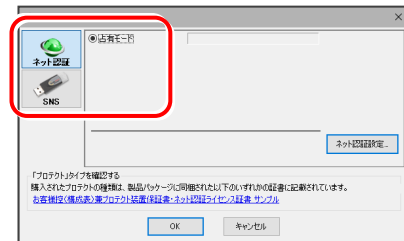
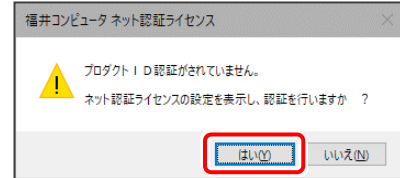
※ 認証の際は、インターネットに接続されている必要があります。

※ 他のプロテクトを使用する場合は、「いいえ」を押します。

● 「プロテクト設定」画面が表示された場合

使用するプロテクトを選択して、「OK」を押します。

※ どれを選択すればいいかわからない場合は、本書の25ページを参照してください。



ネット認証ライセンス（占有）の場合、プロダクトID認証の手順

※ ネット認証ライセンス（占有）のお客様のみ、おこなってください。

「プロダクトID問い合わせキー」を入力して、「プロダクトID取得」ボタンを押します。

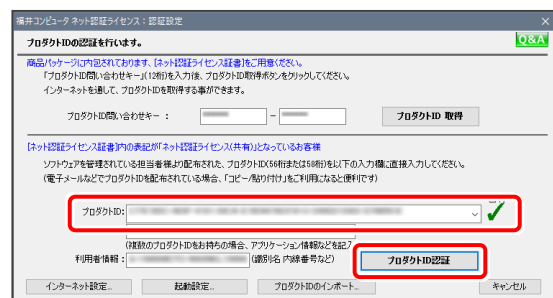
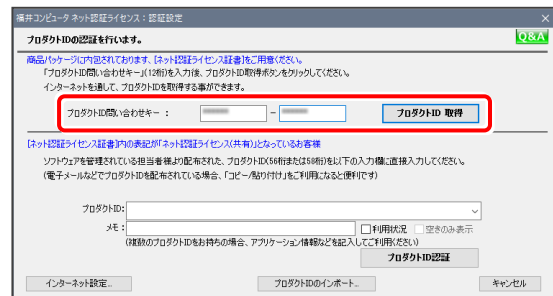
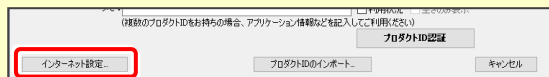
「プロダクトID」が取得されたのを確認したら、「プロダクトID認証」ボタンを押します。

「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 です。

送付される「ネット認証ライセンス証書（占有）」に記載されています。

重要	本証書は、コンピュータ入れ替えの際などに必要となりますので、大切に保管してください。	出荷日: []
		伝票ID: []
ネット認証ライセンス証書 (占有)		
ユーザーコード	[]	
ユーザー名	[]	
製品シリアル番号	[]	
プロダクトID	[]	
プロダクトID 問い合わせキー	[]	
商品構成	[]	

※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、「インターネット設定」ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続きます)

「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。

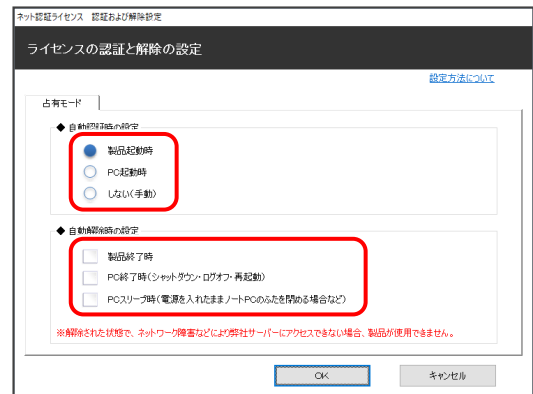
お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- 複数人でライセンスを使用する場合。
- 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定は、お客様のご判断でご使用ください。

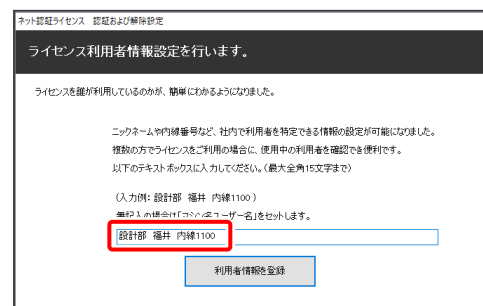


選択を終えたら、[OK] ボタンを押します。



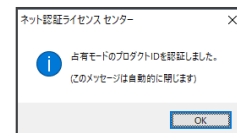
利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】 は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



ネット認証ライセンス（占有）のプロダクトIDが認証されます。

続いて 次ページ **3.** の手順に進みます。



3. 「管理者ツール」で登録した [ユーザー名] と [パスワード] を入力して、[SignIn] をクリックします。

ユーザー名
福井 太郎

パスワード
●●●●●●●●

SignIn

4. 「管理プログラム」が起動します。
管理プログラムでは、地籍調査をおこなう地区データを管理します。

グループ 地区 ツール 地区検索

すべて (0) 状態 地区名 開地期日 終了期日 作成日時 最終更新日時 備考

未分類 (0)

ごみ箱 (0)

事務交接

事務交接を起動

0% 立会

0% 調査後

0% 閲覧

筆総数: 0

公団CAD		地籍計算CAD	
データ名	最終更新日時	データ名	最終更新日時

福井 太郎 [管理者] - Mercury-LAVIS - ヘルプ・FAQ検索



新マシンでの作業

6

データ・設定のリストア（復元）

旧パソコンでバックアップしたMercury-LAVISの「地区」・「設定」・「ユーザー定義帳票」・「相続関係図」のデータを、新パソコンのMercury-LAVISにリストア（復元）します。

6-1 バックアップした地区データをリストア（復元）する

バックアップした地区データ（事務支援、公図CAD、地籍計算・CAD）をリストア（復元）する手順です。
バックアップファイルの拡張子は「.lvx」です。

以下のいずれかの方法でバックアップします。

6-1. 地区データのリストア

※ Ver.3以前の場合は、この方法で地区データを個別にリストアします。

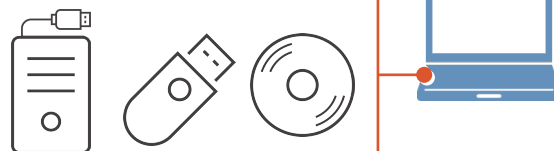
6-2. サーバーツールによる地区データの一括リストア

※ サーバークライアントインストールしている場合は、バックアップツールで一括リストアすることができます。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 「工事データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）を、パソコンにセットします。

- 1 「工事データ」のバックアップファイルを保存したメディア



- 2 管理プログラムを起動して、
[ツール] - [リストア] - [地区] を
クリックします。



③ [地区のリストア] ダイアログが表示されます。

リストア元のフォルダーを指定します。

④ バックアップファイル（拡張子「.lvx」）を指定します。

⑤ リストア先のグループを指定します。

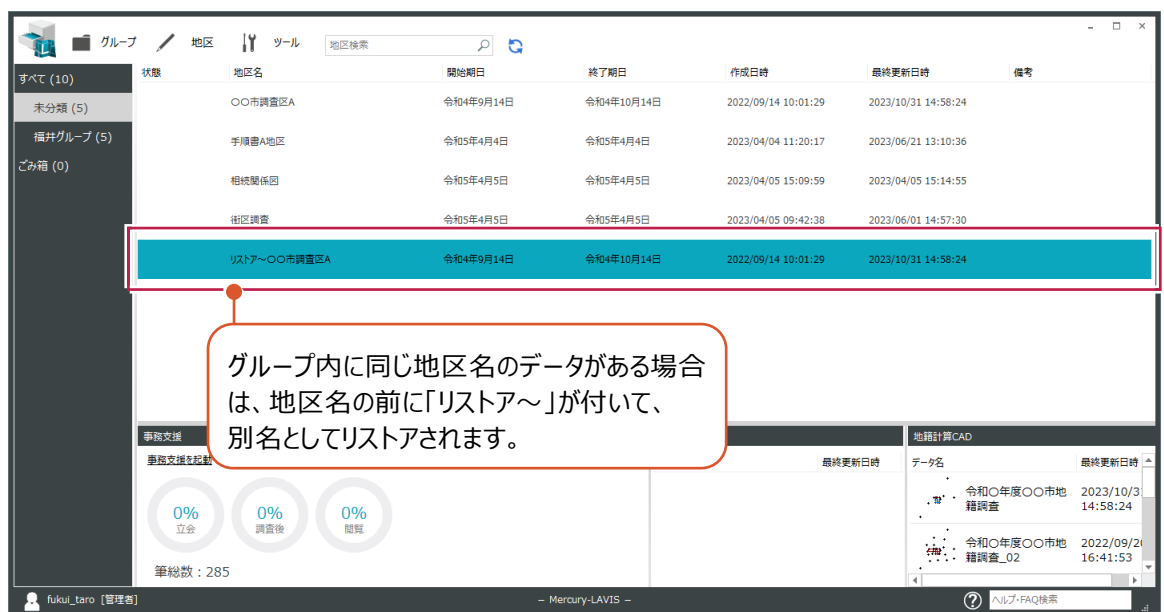
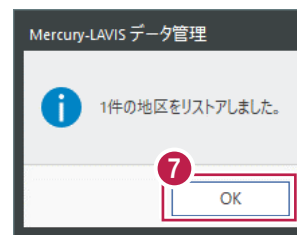
ここでは [バックアップ時のグループ] を選択します。

⑥ [リストア] をクリックします。

リストアが開始されます。

※ リストアするデータによっては、時間がかかる場合があります。

⑦ リストアが完了したら、[OK] をクリックします。

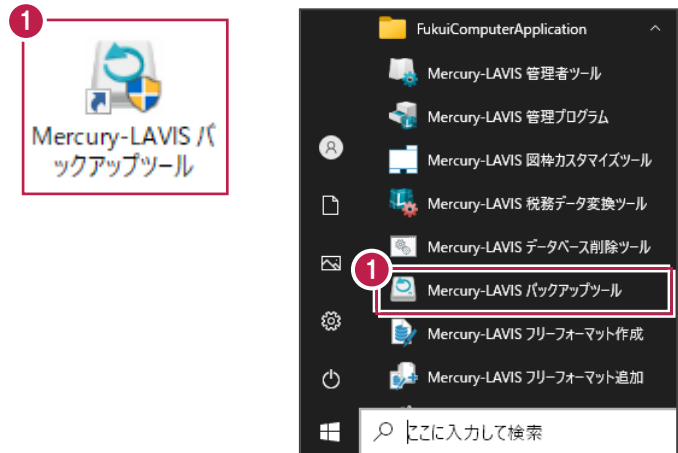


6-2 サーバーツールによる地区データのリストア (サーバクライアントインストールしている場合のみ)

地区データ（事務支援、公図CAD、地籍計算・CAD）を一括リストアします。
バックアップファイルの拡張子は「.lvx」です。

- 1 デスクトップの [Mercury-LAVIS バックアップツール] をダブルクリックします。

または Windows の「スタート」メニューの [FukuiComputerApplication] – [Mercury-LAVIS バックアップツール] をクリックします。

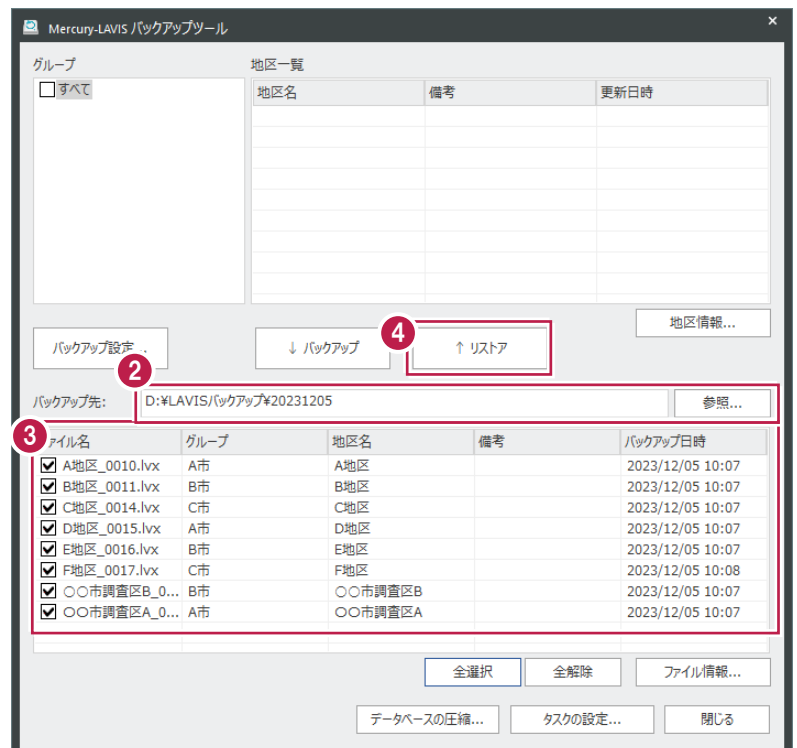


- 2 「バックアップツール」が起動します。
[バックアップ先] に、バックアップ先のドライブ、フォルダ名を入力します。

- 3 リストアする地区のチェックを ON にします。

- 4 [リストア先] に、リストア先のドライブ、フォルダ名を入力します。

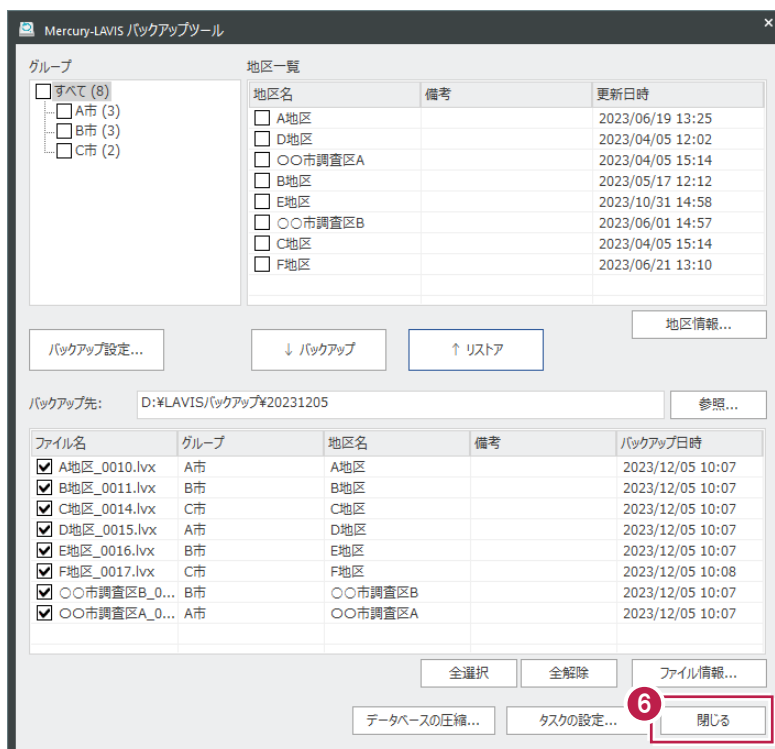
※ リストアするデータによっては、時間がかかる場合があります。



5 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



6 [閉じる] をクリックして、終了します。



6-3 全設定のリストア（復元）

各種設定やマスターファイル、レジストリをリストア（復元）する手順です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

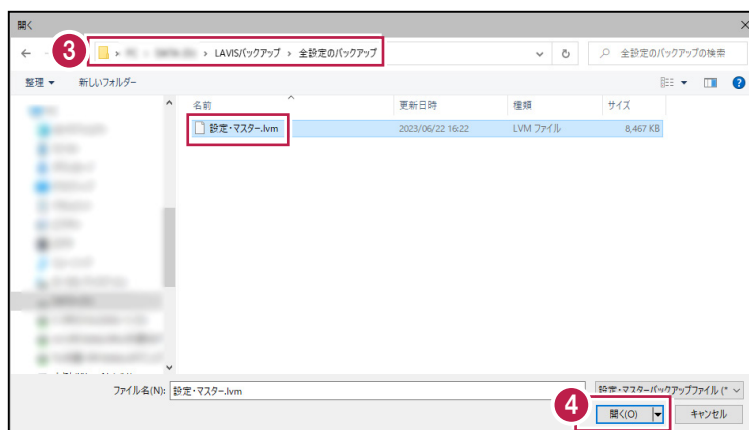
- 1 [ツール] - [リストア] - [全設定] をクリックします。



- 2 [全設定のリストア] ダイアログが表示されます。
[各種設定・マスターファイル] をクリックします。

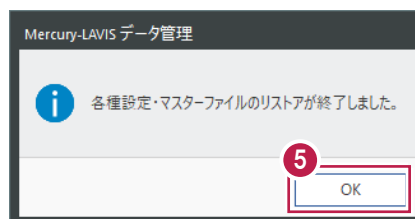


- 3 [開く] ダイアログが表示されます。
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定します。

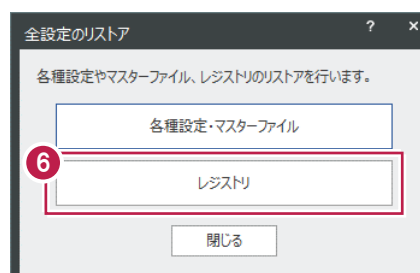


- 4 [開く] をクリックします。
リストアが開始されます。

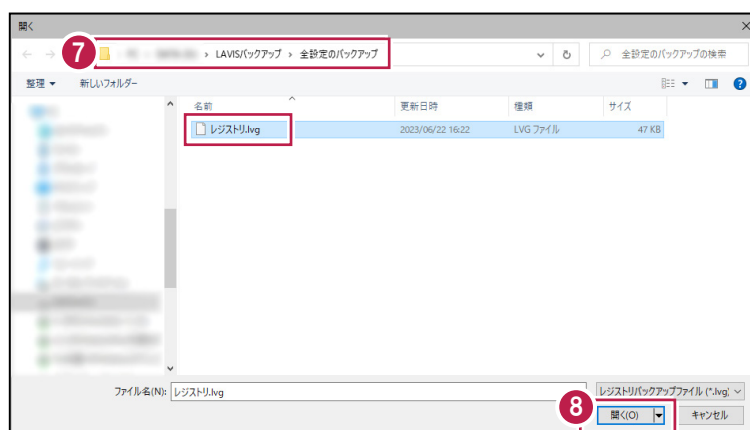
5 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



6 [レジストリ] をクリックします。



7 [開く] ダイアログが表示されます。
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定
します。



8 [開く] をクリックします。
リストアが開始されます。

9 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



10 [閉じる] をクリックして、終了します。



6-4 ユーザー定義帳票のリストア（復元）

ユーザー定義帳票とカスタマイズ帳票をリストア（復元）する手順です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [リストア]
- [ユーザー定義帳票] をクリックします。



- 2 [開く] ダイアログが表示されます。
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定
します。



- 3 [開く] をクリックします。
リストアが開始されます。

- 4 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



6-5 相続関係図のリストア（復元）

「相続関係図プログラム」のデータをリストア（復元）する手順です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [相続関係図] - [リストア] をクリックします。

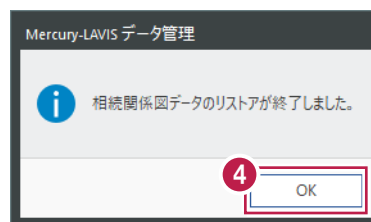


- 2 [開く] ダイアログが表示されます。
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定します。



- 3 [開く] をクリックします。
リストアが開始されます。

- 4 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。





新マシンでの作業

7

セキュリティソフトの除外設定

セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

7-1 除外設定の手順書を開く

- 1 お客様サポートの「インストール/認証・起動」をクリックします。

福井コンピュータ株式会社 Customer Support お客様サポート

お客様サポート
Mercury-LAVIS

※現在Mercury-LAVISをご利用いただいているお客様につきましてはFCアカウント提供を行っております。詳しくは、FCアカウントのお知らせをご参照ください。

お客様の「困った!」を解決し

マニュアル インストール / 認証・起動

初めて操作される方向けに、製品の基本的な操作マニュアルを用意しています。

サポートセンターに日々寄せられるインストール、ネット認証などに関するご質問をご覧いただけます。

- 2 「その他お困りごと」をクリックします。

福井コンピュータ株式会社 Customer Support お客様サポート

お客様サポート
Mercury-LAVIS

マニュアル > インストール / 認証・起動 > よくある質問 > 電話・リモートサポート >
プログラム更新 >

インストール 認証・起動 その他お困りごと

新規インストール・バージョンアップ等 ネット認証ライセンス・プロテクト等 その他システムに関するお困りごと等

インストール

製品の新規セットアップ、バージョンアップなどの手順はこちらをご覧ください。

- 3 「セキュリティソフトの除外設定について」の「セキュリティソフトの除外設定方法」をクリックします。
内容を確認してください。



- 4 セキュリティソフトの除外設定の手順書が表示されます。
お使いになっているセキュリティソフトに合わせて「Q:」をクリックします。
手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。



新しいサーバマシンへの、データ・設定の移行の流れ

サーバクライアント用



旧サーバマシンでの作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除

新サーバマシンでの作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ Mercury-LAVIS のインストール
- ⑤ プログラムの起動
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定
- ⑧ サーバーの参照先変更

サーバクライアント用



旧サーバマシンでの作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除



旧マシンでの作業

1

データ・設定のバックアップ

まず、旧パソコンのMercury-LAVISで、「地区」・「設定」・「ユーザー定義帳票」・「相続関係図」のデータをバックアップします。

1-1 地区データをバックアップする

地区データ（事務支援、公図CAD、地籍計算・CAD）をバックアップする手順です。
バックアップファイルの拡張子は「.lvx」です。

以下のいずれかの方法でバックアップします。

1-1. 地区データの一括バックアップ（Ver.4以降）

※ Ver.4以降は、地区データの一括バックアップが可能です。

1-2. サーバーツールによる地区データの一括バックアップ

※ サーバークライアントインストールしている場合は、バックアップツールで一括バックアップすることができます。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [バックアップ]
- [地区（一括）] をクリックします。



2 [地区の一括バックアップ] ダイアログが表示されます。

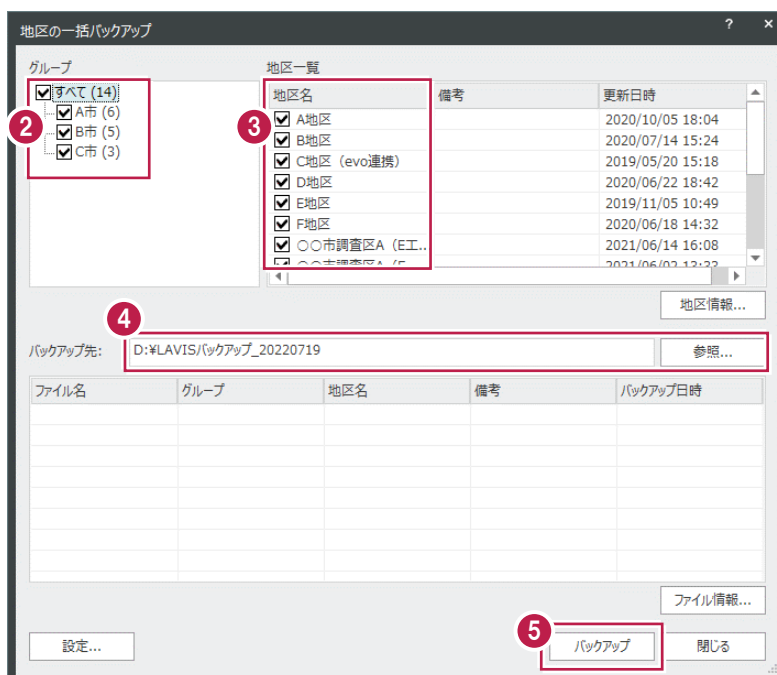
[グループ] で、バックアップするグループのチェックを ON にします。

3 [地区一覧] で、バックアップする地区のチェックを ON にします。

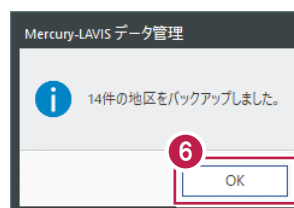
4 [参照] をクリックして [バックアップ先] を指定します。

5 [バックアップ] をクリックします。
一括バックアップが開始されます。

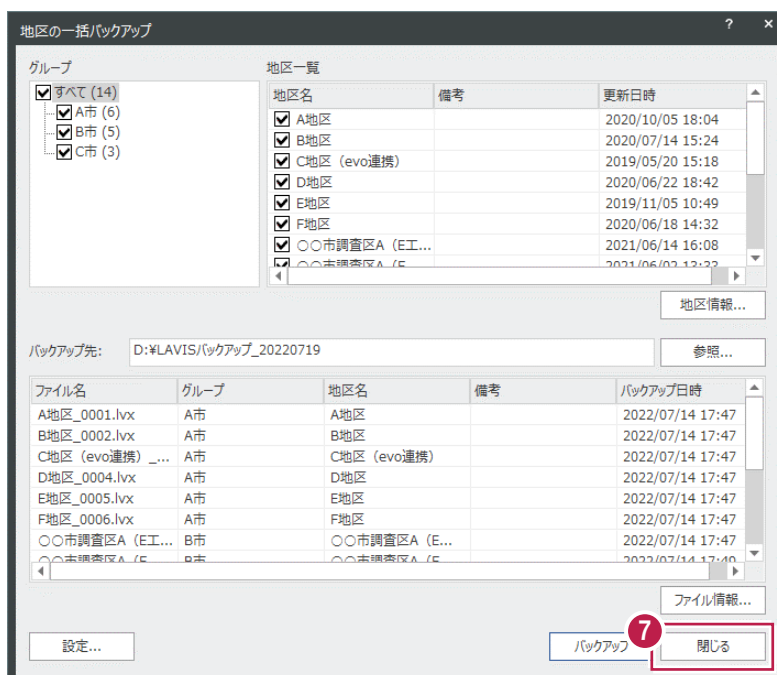
※ バックアップするデータによっては、時間がかかる場合があります。



6 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



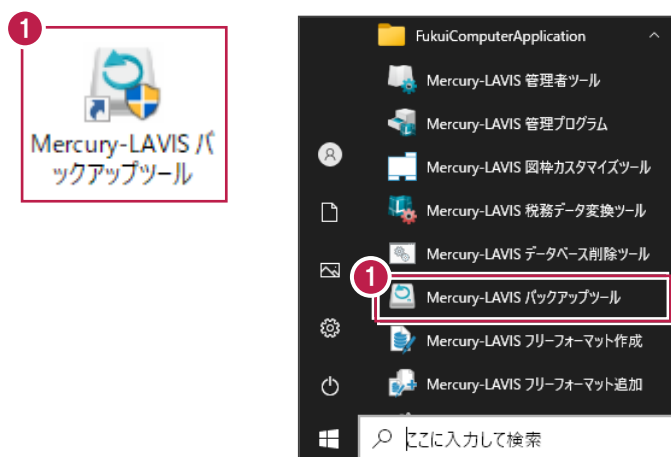
7 [閉じる] をクリックして、終了します。



1-2 サーバーツールによる地区データのバックアップ^① (サーバクライアントインストールしている場合のみ)

- 1 デスクトップの [Mercury-LAVIS バックアップツール] をダブルクリックします。

または Windows の「スタート」メニューの [FukuiComputerApplication] - [Mercury-LAVIS バックアップツール] をクリックします。



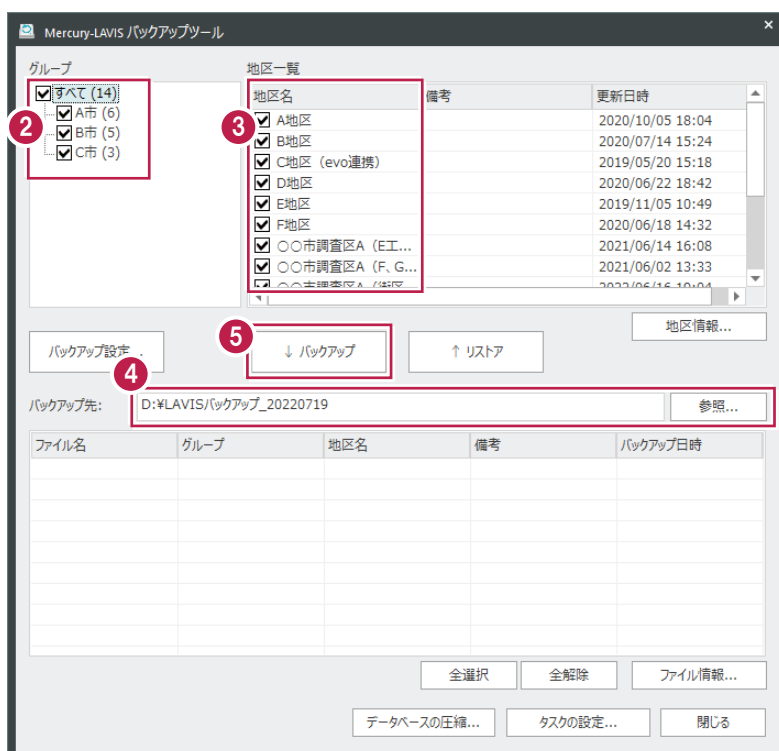
- 2 「バックアップツール」が起動します。
[グループ] で、バックアップするグループのチェックを ON にします。

- 3 [地区一覧] で、バックアップする地区のチェックを ON にします。

- 4 [参照] をクリックして [バックアップ先] を指定します。

- 5 [バックアップ] をクリックします。
バックアップが開始されます。

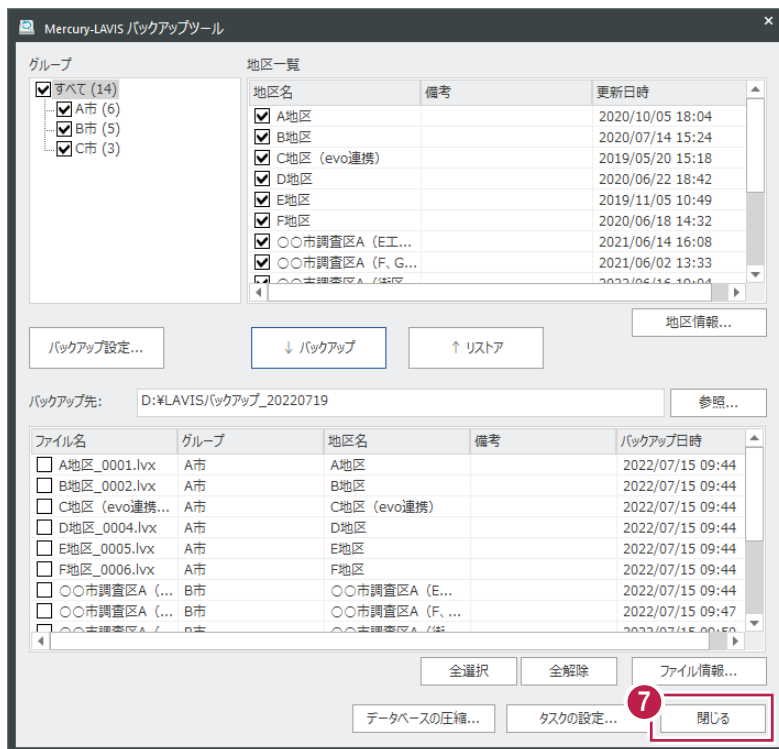
※ バックアップするデータによっては、時間がかかる場合があります。



6 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



7 [閉じる] をクリックして、終了します。



1-3 全設定のバックアップ

各種設定やマスターファイル、レジストリをバックアップする手順です。
各種設定やマスターファイルのバックアップファイルの拡張子は「.lvm」です。
レジストリのバックアップファイルの拡張子は「.lvg」です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [バックアップ] - [全設定] をクリックします。



- 2 [全設定バックアップ] ダイアログが表示されます。

[各種設定・マスターファイル] をクリックします。



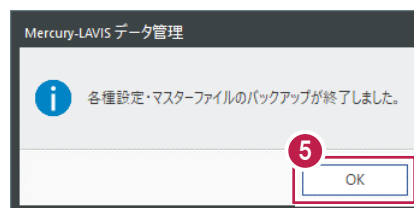
- 3 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

保存先、ファイル名を指定します。

- 4 [保存] をクリックします。
バックアップが開始されます。



- 5 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



- 6 [レジストリ] をクリックします。



- 7 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

保存先、ファイル名を指定します。

- 8 [保存] をクリックします。
バックアップが開始されます。



- 9 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



- 10 [閉じる] をクリックして、終了します。



1-4 ユーザー定義帳票のバックアップ

ユーザー定義帳票とカスタマイズ帳票をバックアップする手順です。

Mercury-LAVISのデータフォルダー内の「CustomForm」フォルダー内のファイルがバックアップされます。

複数の帳票ファイルが1つのファイルに圧縮されます。

バックアップファイルの拡張子は「.lvf」です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [バックアップ]
- [ユーザー定義帳票] をクリックします。

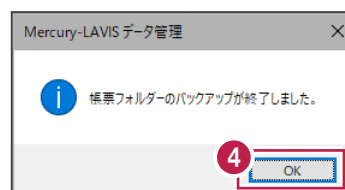


- 2 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。
保存先、ファイル名を指定します。



- 3 [保存] をクリックします。
バックアップが開始されます。

- 4 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



1-5 相続関係図のバックアップ

「相続関係図プログラム」のデータをバックアップする手順です。

Mercury-LAVISのデータフォルダー内の「InheritData」フォルダー内のファイルがバックアップされます。

複数の相続関係図データが1つのファイルに圧縮されます。

バックアップファイルの拡張子は「.lvi」です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [相続関係図]
- [バックアップ] をクリックします。



- 2 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

保存先、ファイル名を指定します。

- 3 [保存] をクリックします。

バックアップが開始されます。



- 4 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。





旧マシンでの作業

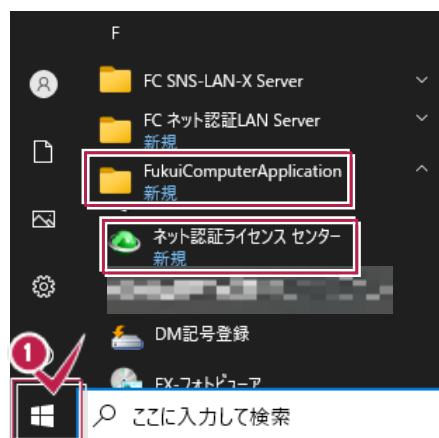
2 ライセンスの解除

旧パソコンで使用している「ライセンス」を解除します。
ライセンスを解除しないと、新パソコンでライセンスを認証することができません。

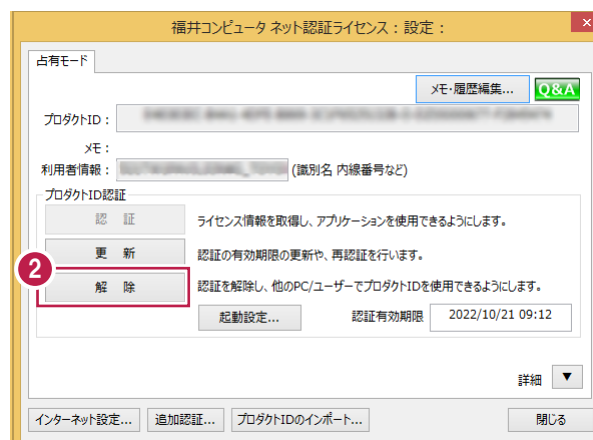
2-1 ネット認証ライセンス（占有）を解除する

- 1 画面右下のタスクバーの通知領域にある、「FC ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックします。

もしくは、スタートメニューから、
[FukuiComputerApplication] -
[ネット認証ライセンスセンター] を起動します。



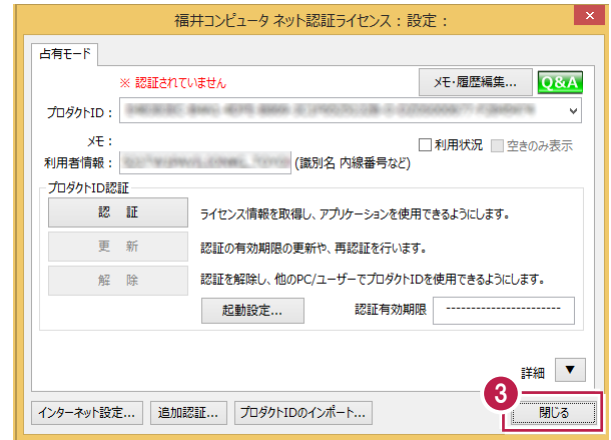
- 2 ネット認証ライセンスの「設定」画面が表示されます。
[解除] を押すとネット認証が解除されます。





③ [閉じる] をクリックして画面を閉じます。

以上で、「ネット認証ライセンス（占有）の解除」は完了です。

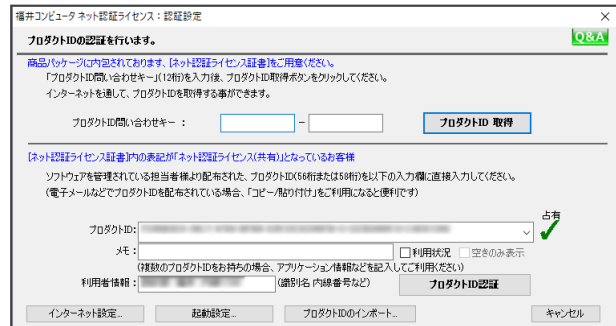


補足

ネット認証ライセンスセンターのアイコンが右図のように黒くなっている場合は、ライセンスは「解除」済みです。



また、ネット認証ライセンスセンターを起動したときに右図のように [認証設定] の画面が表示された場合は、ライセンスは「解除」済みです。



サーバクライアント用



新サーバマシンでの作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ Mercury-LAVIS のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定
- ⑧ サーバの参照先変更



新マシンでの作業

3

FC アカウントのインストール

新パソコンに、Mercury-LAVISの最新プログラムをダウンロードするのに必要な「FCアカウント」をインストールします。

3-1 FCアカウントをダウンロードしてインストールする

弊社WEBサイトから、「FCアカウント」をダウンロードしてインストールします。

※コンピューターが再起動されますので、実行中のアプリケーションは、全て終了させておいてください。

- 1 インターネットの検索サイトで、「FC アカウント」を検索します。



- 2 検索結果の「FC アカウントご利用案内 | 福井コンピュータグループ」をクリックします。
検索結果に表示されない場合は、以下のアドレスを直接ブラウザに入力してください。

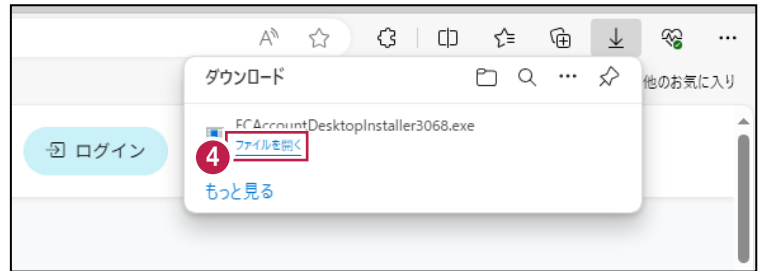
<https://hd.fukuicompu.co.jp/fc-account/info.html>



- 3 「FC アカウントをダウンロード」をクリックします。



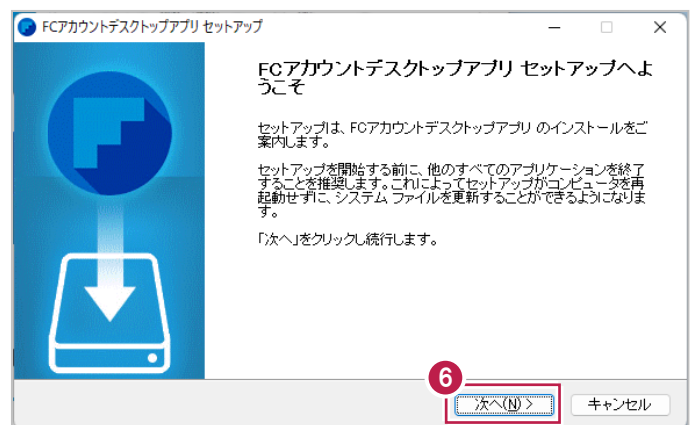
- 4 ファイルのダウンロードの画面が表示された場合は、「ファイルを開く」を押します。



- 5 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

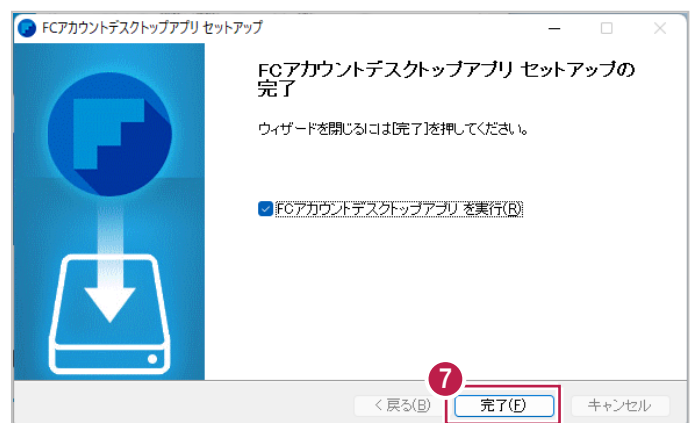


- 6 FC アカウントのセットアップが開始されます。
画面にしたがって、セットアップをおこなってください。



- 7 インストールが完了したら、「完了」をクリックします。

※ [FC アカウントデスクトップアプリを実行] がオンの状態で「完了」をクリックすると、自動的に FC アカウントのデスクトップ版が起動されます。



※ FC アカウントのデスクトップ版をインストールすると、デスクトップに FC アカウントを起動するアイコンが登録されます。



※ インストールしたデスクトップアプリ版で、FC アカウントを登録して製品をインストールします。

8 FC アカウントデスクトップ版で次の画面が開きます。「次のステップへ」を押します。

※ 他のパソコンで FC アカウントを登録済みの方は、「すでに FC アカウントをお持ちの方はログインへ」よりログインして、「インストール・バージョンアップ」より製品をインストールできます。



9 FC アカウントデスクトップ版を利用するお客様のメールアドレスを入力して、「確認コードを送信」を押します。

[次へ] をクリックして、ユーザー登録をおこないます。



10 入力したメールアドレス先にメールが届きます。メールに書かれているコードを「確認コード」に入力して「コードの確認」を押します。



- 11 「新しいパスワード」「パスワードの確認入力」
（確認のため2回入力）「姓」「名」を入力し、
利用規約を確認して「利用規約に同意」にチェック
を付け「作成」を押します。

メールアドレスを確認しました。引き続きパスワード、
姓、名を入力して「作成」を押してください。

11

新しいパスワード

パスワードの確認入力

姓

名

利用規約に同意（※ページ下部参照）

作成

< 戻る

- 12 「お客様情報の確認」を押します。

ご利用中の当社製品シリアルから
当社でお預かりしているお客様情報と連携します

12

お客様情報の確認

< HOME

- 13 右記の画面が表示されますので、保守サービス
中をご契約中の場合は「こちら」をクリックします。

シリアルが見つかりませんでした。

当社製品をご使用の際は、一度お試しください。
保守サービスをご契約中の方は「こちら」で当社製品をインストールできます。

13

お客様情報のご照会に関するお問い合わせはこちら

< HOME

- 14 「ユーザーコード」と「製品シリアル」を入力して
「製品を表示する」を押します。

HOME > 保守契約プログラムのインストール

④ 保守契約プログラムのインストール

ユーザーコードと製品シリアルを入力してください。
インストール可能な製品が表示されます。
※ユーザーコードと製品シリアルについては [こちら](#)

14

製品を表示する

※以上で、「FC アカウントのインストール」は完了です。



新マシンでの作業

4

Mercury-LAVIS のインストール

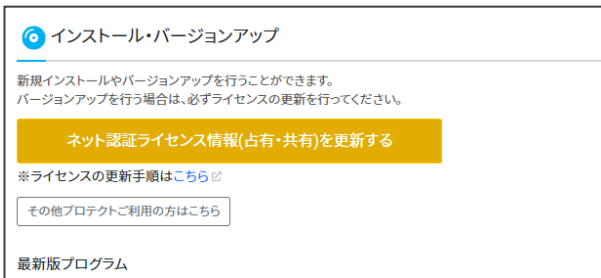
新パソコンにインストールした FC アカウントを利用して、Mercury-LAVIS を新規インストールする手順を解説します。

4-1 全体ファイルの保存

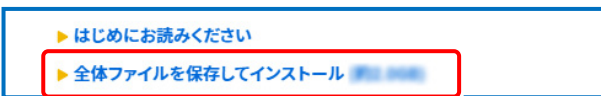
Mercury-LAVIS の全体ファイルをダウンロードして保存します。

※ ご利用の通信環境、時間帯によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。そのようなときは、別の時間帯で再度お試しください。ダウンロードを中止しても、また続きから再開されます。

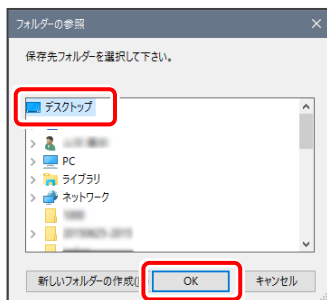
1. 「インストール・バージョンアップ」のページにある Mercury-LAVIS の「インストール」ボタンをクリックします。



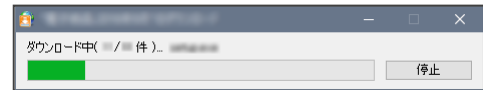
メニューが表示されますので、「全体ファイルを保存してインストール」をクリックします。



2. ダウンロードする全体ファイルの保存先（デスクトップなど）を指定して、[OK] をクリックします。



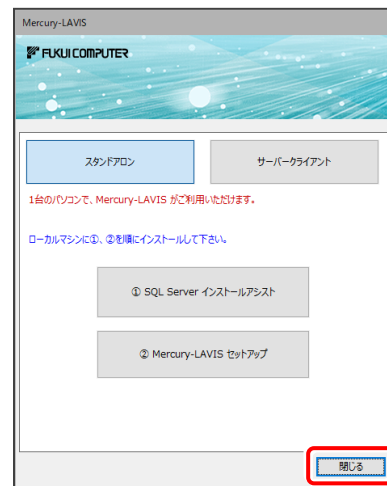
3. ダウンロードが開始されます。



※ ダウンロードを中止する場合は、上記画面で [停止] をクリックしてダウンロードを一時停止してから、右上の [×] ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

4. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます

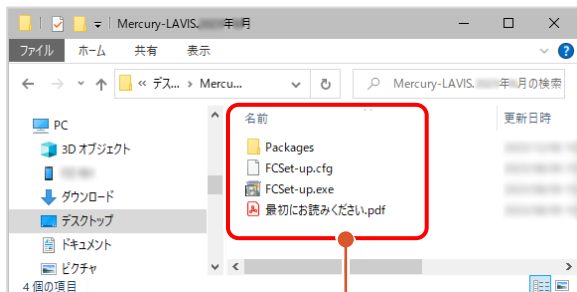
[閉じる] をクリックして画面を閉じます。



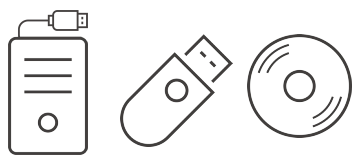
(次ページへ続く)

5. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルを、外付けハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。

(サーバーでダウンロードした場合は、そのままクライアントインストールを実行できますのでDVDやUSBメモリに書き込む必要はありません。)



外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。



以上で、全体ファイルの保存は完了です。

続いて次ページへ進み、プログラムをインストールします。

(次ページへ続く)

4-2 プログラムのインストール

保存した全体ファイルを利用して、プログラムをインストールします。

ネット認証（占有） + サーバークライアント

「ネット認証ライセンス（占有）」+「サーバークライアント」の、新規インストール手順です。

まずサーバーで

「Step1 | SQLServer インストール」

「Step2 | Mercury-LAVIS サーバークライアントインストール」をおこないます。

次にクライアントで

「Step3 | Mercury-LAVIS クライアントインストール」をおこないます。

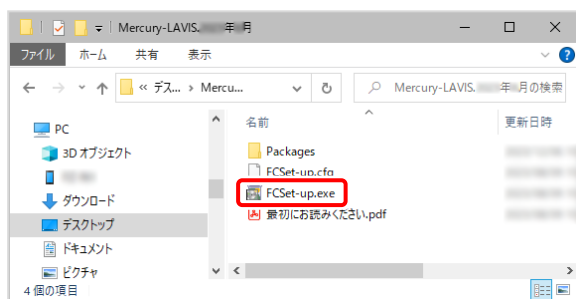
まず、サーバーにプログラムをインストールします

Step1 | SQLServer インストール

1. 全体ファイルをコピーしたメディア（外付けハードディスクなど）を、サーバーにセットします。

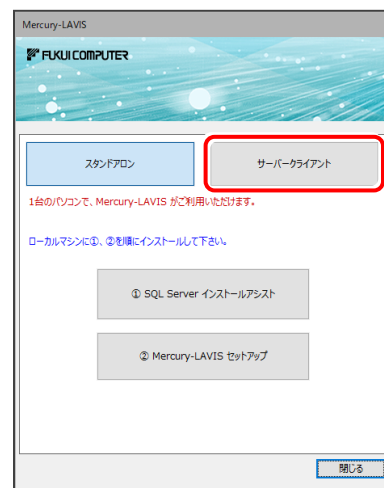


2. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルにある“FCSet-up.exe”を実行します。

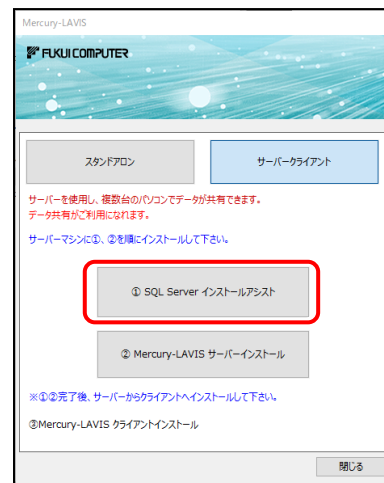


セットアップ画面が表示されます。

「サーバークライアント」タブを選択します。



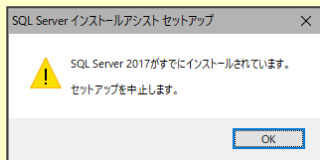
「① SQLServer インストールアシスト」ボタンを押します。



インストールアシストが不要な場合があります

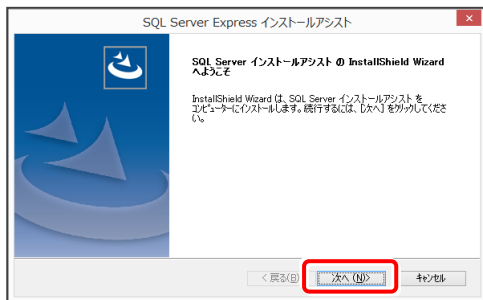
- ※ サーバーに、既に製品版の「SQLServer」がインストール済みの場合は、「インストールアシスト」でSQLServerをインストールしないでください。
「Step2 | Mercury-LAVISサーバーインストール」へ進んでください。
- ※ 「インストールアシスト」でSQLServerをインストールする必要がない場合は、「セットアップ（インストール）を中止します。」とメッセージが表示されます。
「Step2 | Mercury-LAVISサーバーインストール」へ進んでください。

メッセージ例



3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

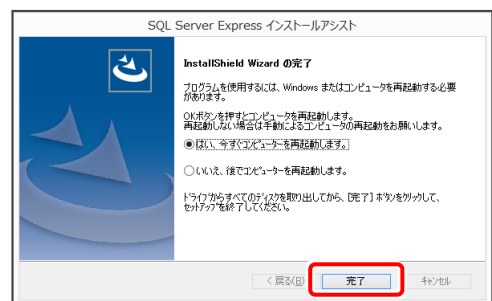
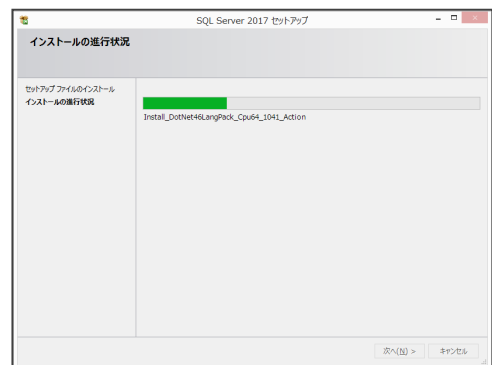
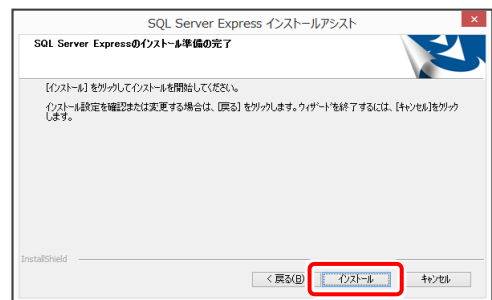
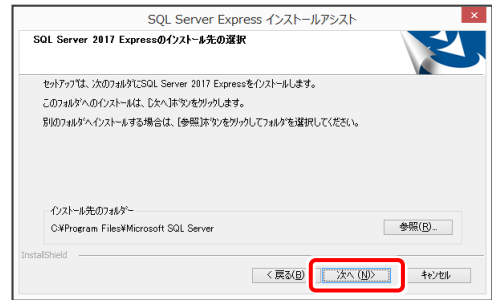
- ※ 画面は、環境によって異なる場合があります。
- ※ インストールには時間がかかる場合があります。



「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択します。



プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

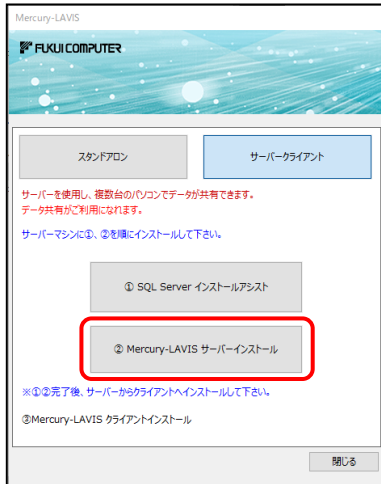
(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | Mercury-LAVIS

サーバーインストール

1. サーバーで、セットアップ画面の

[② Mercury-LAVIS サーバーインストール]
ボタンを押します。



2. インストール環境の確認画面が表示されます。

すべての項目を確認してチェックしてから、
[次へ] ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[上記の全条項に同意します] をチェックして、
[次へ] を押します。

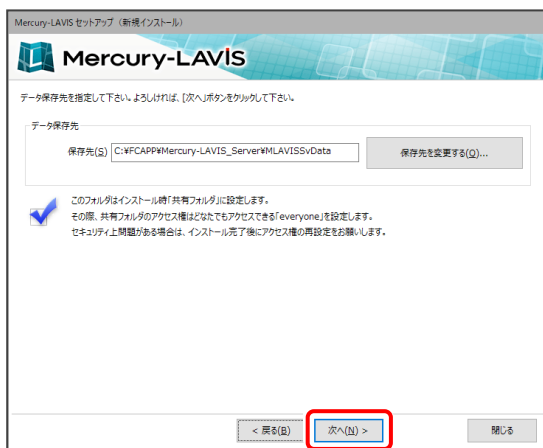


プログラムのインストール先を確認して、
[次へ] を押します。



(次ページへ続きます)

データの保存先を確認して、[次へ] を押します。



「インストール先」と「データ保存先」のフォルダーは「共有フォルダー」になります

サーバーの「インストール先」と「データ保存先」には、「共有フォルダー」が作成されます。
(Everyone フルコントロール)

内容を確認して、[セットアップ開始] を押します。

プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について] を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-LAVIS が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について](#)」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

確認を終えたら、[閉じる] を押します。

再起動が必要な場合は、再起動します。



(次ページ「Step3」へ進みます)

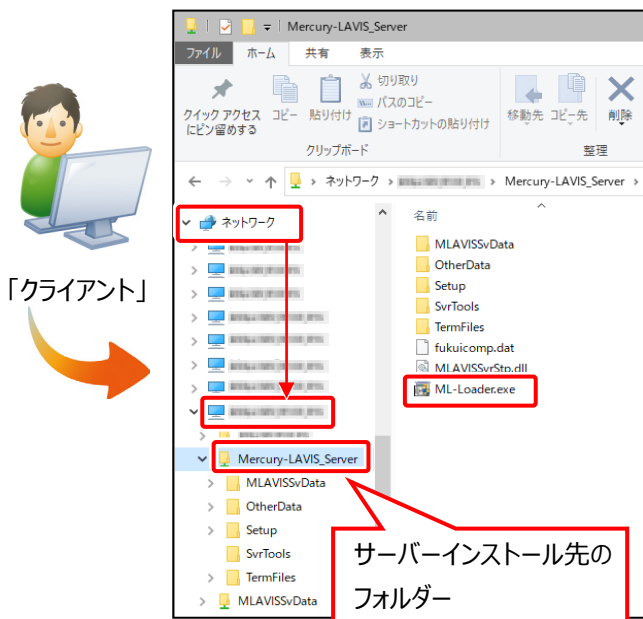
次に、サーバーマシンにプログラムをクライアントインストールします

※これらの操作は、サーバーマシンでも LAVIS プログラム（管理プログラムなど）を使用する場合のみおこなってください。

Step3 | Mercury-LAVIS クライアントインストール

1. クライアントで、エクスプローラーを開きます。

「ネットワーク」をクリックしてサーバーを参照し、サーバーインストール先のフォルダーにある、「ML-Loader.exe」を実行します。



2. インストール環境の確認画面が表示されます。

すべての項目を確認してチェックしてから、「次へ」ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[上記の全条項に同意します] をチェックして、「次へ」を押します。



(次ページへ続きます)

コンピュータの時計とインストール先フォルダーを確認します。必要があれば、変更してください。



「プロテクト」が「ネット認証ライセンス：（占有）」であることを確認して、[次へ] を押します。



プロテクトが「ネット認証ライセンス：（占有）」以外になっている場合は

「[プロテクト]タイプを変更する」ボタンから表示されるダイアログで、「ネット認証」の「占有」を選択します。



サーバー名を確認して、[次へ] を押します。



内容を確認して、[セットアップ開始] を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



(次ページへ続きます)

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-LAVIS が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考してください。

以上で、プログラムの新規インストールは完了です。



新マシンでの作業

5

プログラムの起動

新パソコンでプログラムを起動して、管理者の登録とライセンスの認証をおこないます。

※プロダクト ID の認証時は、インターネットに接続された環境が必要です。

5-1 「管理者ツール」の起動

以前に登録しているユーザーは、バックアップをしても新しいサーバーやパソコンには引き継がれません。

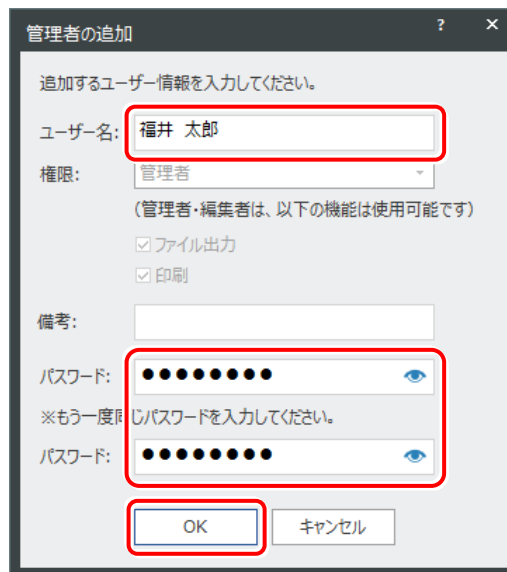
そのため、新しいサーバー/パソコンで「Mercury-LAVIS」を利用するには、まず管理者の方が「管理者ツール」を起動して、管理者や使用するユーザーを登録する必要があります。

(※ 管理者以外の方は、「5-2. 「管理プログラム」の起動」にお進みください。)

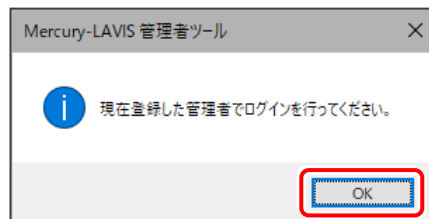
1. デスクトップの [Mercury-LAVIS 管理者ツール] のアイコンをダブルクリックして起動します。



2. 管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力して、[OK] をクリックします。



3. 確認メッセージの [OK] をクリックします。



(次ページへ続きます)

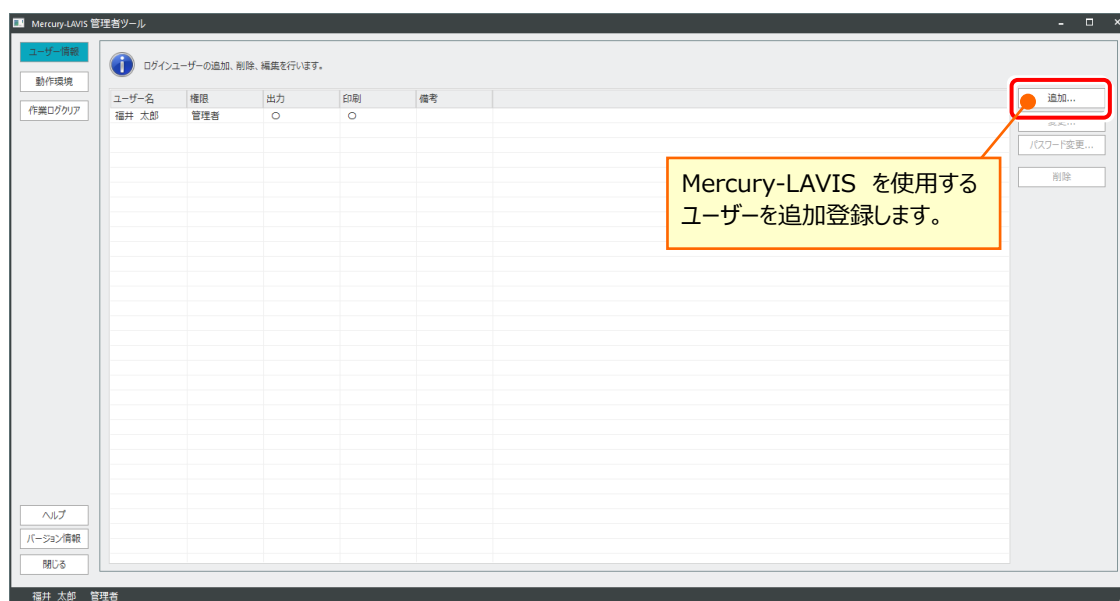
4. 先ほど登録した管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力して、[SignIn] をクリックします。

ユーザー名
福井 太郎

パスワード
●●●●●●●●

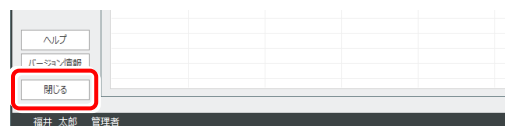
SignIn

5. 「管理者ツール」が起動します。



- Mercury-LAVIS を使用可能なユーザーが、一覧表示されます。
- 複数人で Mercury-LAVIS を使用する場合は、[追加] ボタンでユーザーを追加登録します。
- 「管理者ツール」を起動できるのは、権限が「管理者」のユーザーのみです。

6. Mercury-LAVIS を使用するユーザーの登録を終えたら、[閉じる] をクリックして、「管理者ツール」を終了します。



続いて 次ページ「5-2. 「管理プログラム」の起動」に進みます。

5-2 「管理プログラム」の起動

管理者と仕様するユーザーの登録を終えたら、「管理プログラム」を起動します。

1. デスクトップの「Mercury-LAVIS 管理プログラム」のアイコンをダブルクリックして起動します。
2. ライセンスの確認がおこなわれます。

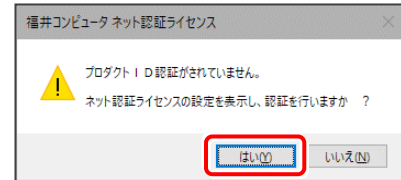


● プロダクトID認証のメッセージが表示された場合

ネット認証ライセンス（占有）を使用する場合は、「はい」を押します。

続いて下記手順を参照し、ネット認証ライセンスのプロダクトIDを認証します。

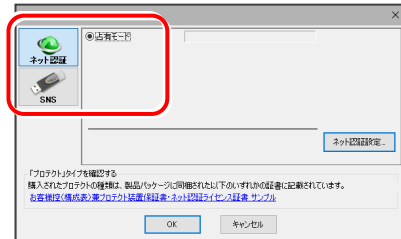
- ※ 認証の際は、インターネットに接続されている必要があります。
- ※ 他のプロテクトを使用する場合は、「いいえ」を押します。



● 「プロテクト設定」画面が表示された場合

使用するプロテクトを選択して、「OK」を押します。

- ※ どれを選択すればいいかわからない場合は、本書の25ページを参照してください。



ネット認証ライセンス（占有）の場合、プロダクトID認証の手順

※ ネット認証ライセンス（占有）のお客様のみ、おこなってください。

「プロダクトID問い合わせキー」を入力して、「プロダクトID取得」ボタンを押します。

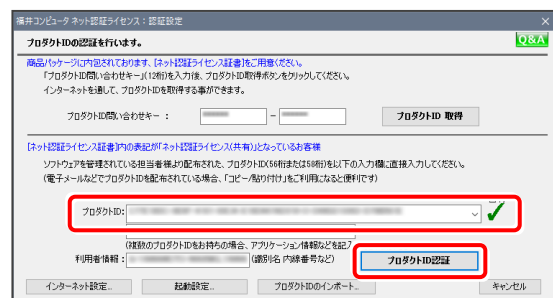
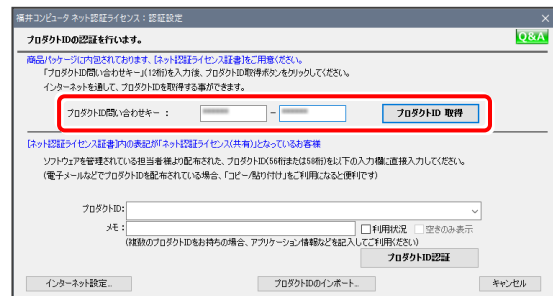
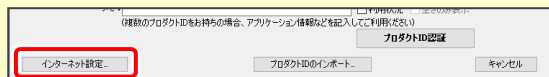
「プロダクトID」が取得されたのを確認したら、「プロダクトID認証」ボタンを押します。

「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 です。

送付される「ネット認証ライセンス証書（占有）」に記載されています。

重要	本証書は、コンピュータ入れ替えの際などに必要となりますので、大切に保管してください。	出荷日: []
		伝票ID: []
ネット認証ライセンス証書（占有）		
ユーザーコード	[]	
ユーザー名	[]	
製品シリアル番号	[]	
プロダクトID	[]	
プロダクトID 問い合わせキー	[]	
商品構成	[]	

※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、「インターネット設定」ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



（次ページへ続きます）

「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。

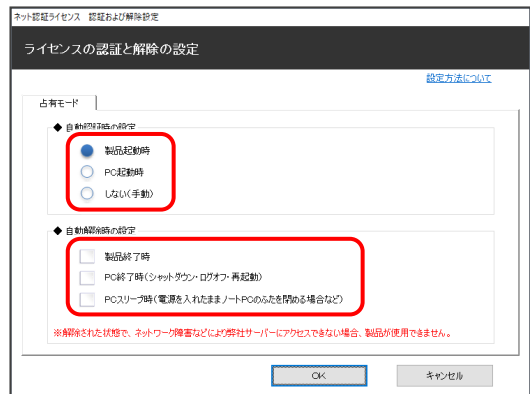
お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- ・ 複数人でライセンスを使用する場合。
- ・ 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- ・ 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定は、お客様のご判断でご使用ください。

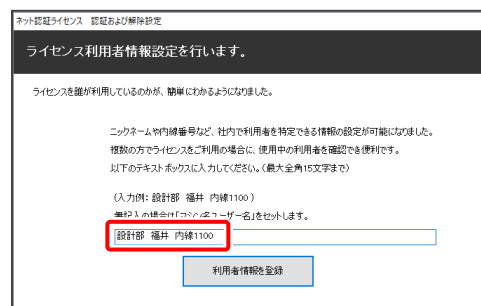


選択を終えたら、[OK] ボタンを押します。



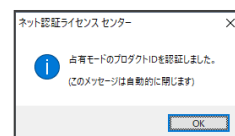
利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】 は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



ネット認証ライセンス（占有）のプロダクトIDが認証されます。

続いて 次ページ **3.** の手順に進みます。

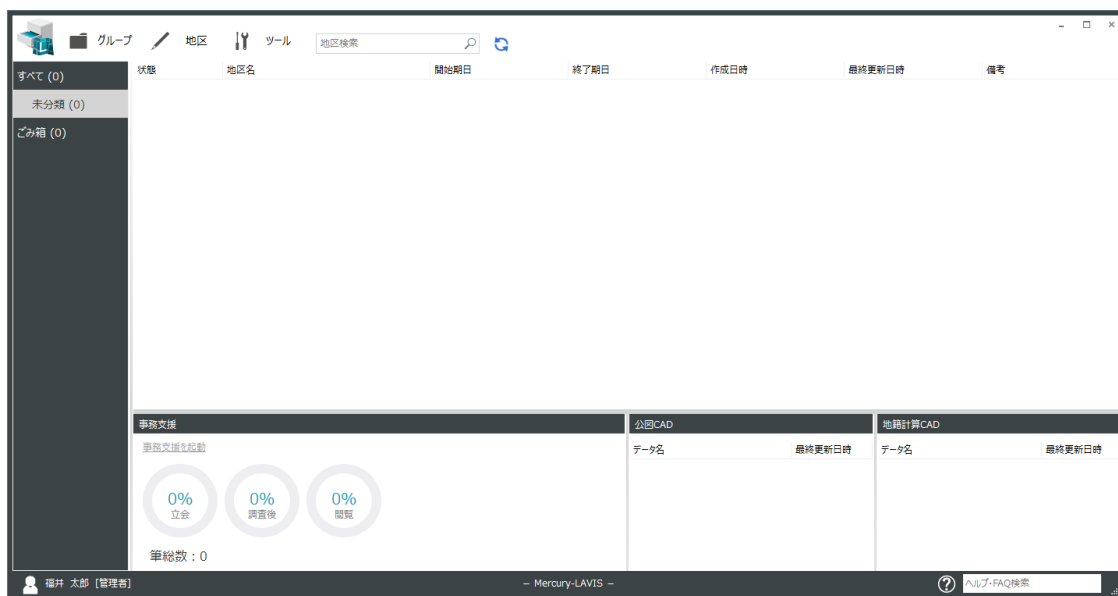


3. 「管理者ツール」で登録した [ユーザー名] と [パスワード] を入力して、[SignIn] をクリックします。



The screenshot shows a login window with a close button (X) in the top right corner. Below the window title bar, there are two input fields: 'ユーザー名' (Username) containing '福井 太郎' (Fukui Taro) and 'パスワード' (Password) with a masked input (dots) and an eye icon to toggle visibility. A 'SignIn' button is located below the password field. Red boxes highlight the input fields and the button.

4. 「管理プログラム」が起動します。
管理プログラムでは、地籍調査をおこなう地区データを管理します。



The screenshot displays the 'Management Program' interface. The top navigation bar includes 'グループ' (Group), '地区' (Area), and 'ツール' (Tools) menus, along with a search bar for '地区検索' (Area Search). The main content area is currently empty. The bottom section features a '事務交接' (Task Handover) section with three progress indicators: '立会' (0%), '調査後' (0%), and '閲覧' (0%). To the right, there are tables for '公団CAD' and '地籍計算CAD', both with columns for 'データ名' (Data Name) and '最終更新日時' (Last Updated Time). The bottom status bar shows the user '福井 太郎 [管理者]' (Fukui Taro [Admin]), the application name 'Mercury-LAVIS', and a 'ヘルプ・FAQ検索' (Help/FAQ Search) button.



新マシンでの作業

6

データ・設定のリストア（復元）

旧サーバーでバックアップしたMercury-LAVISの「地区」・「設定」・「ユーザー定義帳票」・「相続関係図」のデータを、新パソコンのMercury-LAVISにリストア（復元）します。

6-1 バックアップした地区データをリストア（復元）する

バックアップした地区データ（事務支援、公図CAD、地籍計算・CAD）をリストア（復元）する手順です。
バックアップファイルの拡張子は「.lvx」です。

以下のいずれかの方法でバックアップします。

6-1. 地区データのリストア

※ Ver.3以前の場合は、この方法で地区データを個別にリストアします。

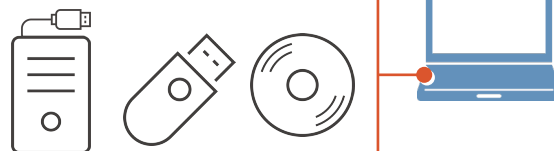
6-2. サーバーツールによる地区データの一括リストア

※ サーバークライアントインストールしている場合は、バックアップツールで一括リストアすることができます。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 「工事データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）を、パソコンにセットします。

- 1 「工事データ」のバックアップファイルを保存したメディア



- 2 管理プログラムを起動して、
[ツール] - [リストア] - [地区] を
クリックします。



③ [地区のリストア] ダイアログが表示されます。

リストア元のフォルダーを指定します。

④ バックアップファイル（拡張子「.lvx」）を指定します。

⑤ リストア先のグループを指定します。

ここでは [バックアップ時のグループ] を選択します。

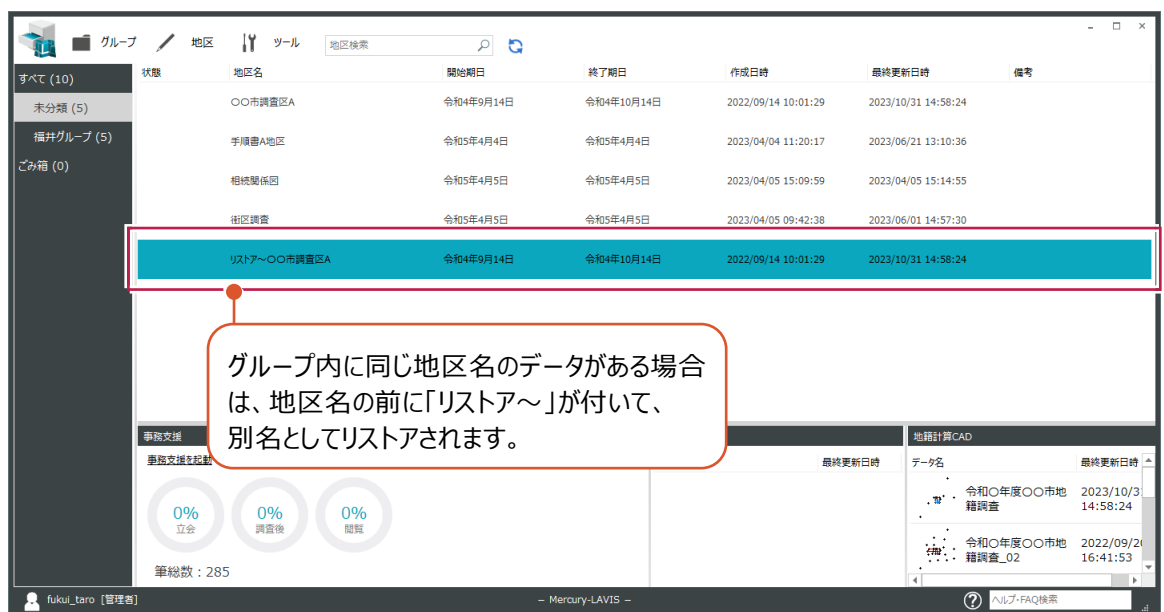
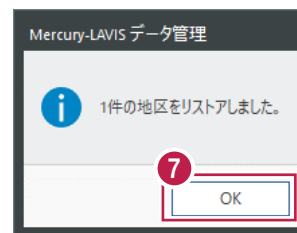
⑥ [リストア] をクリックします。

リストアが開始されます。

※ リストアするデータによっては、時間がかかる場合があります。



⑦ リストアが完了したら、[OK] をクリックします。

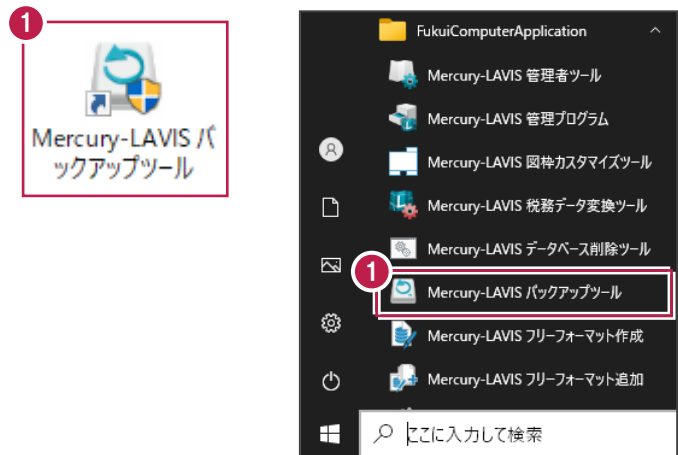


6-2 サーバーツールによる地区データのリストア (サーバクライアントインストールしている場合のみ)

地区データ（事務支援、公図CAD、地籍計算・CAD）を一括リストアします。
バックアップファイルの拡張子は「.lvx」です。

- 1 デスクトップの [Mercury-LAVIS バックアップツール] をダブルクリックします。

または Windows の「スタート」メニューの [FukuiComputerApplication] – [Mercury-LAVIS バックアップツール] をクリックします。

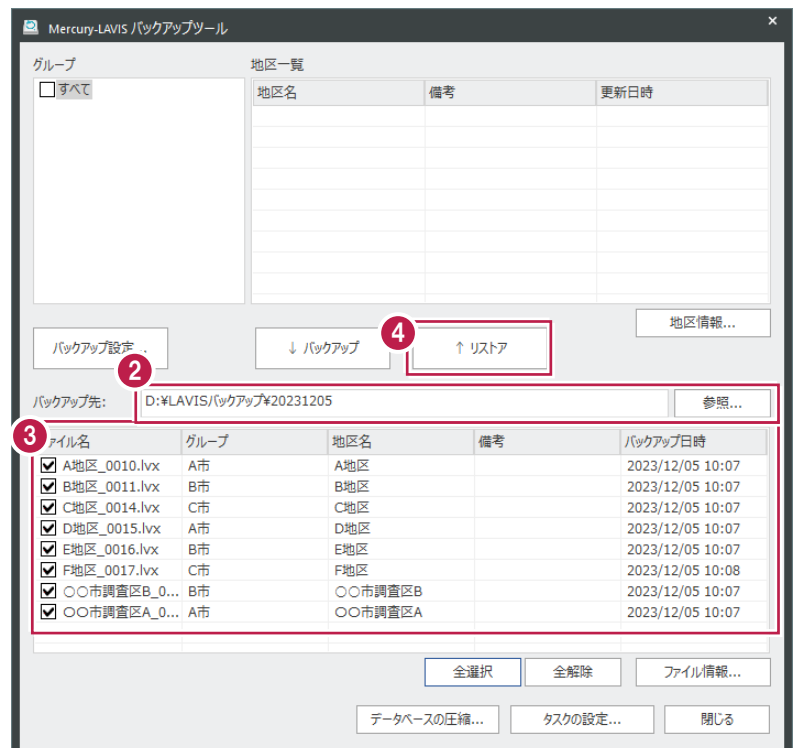


- 2 「バックアップツール」が起動します。
[バックアップ先] に、バックアップ先のドライブ、フォルダ名を入力します。

- 3 リストアする地区のチェックを ON にします。

- 4 [リストア先] に、リストア先のドライブ、フォルダ名を入力します。

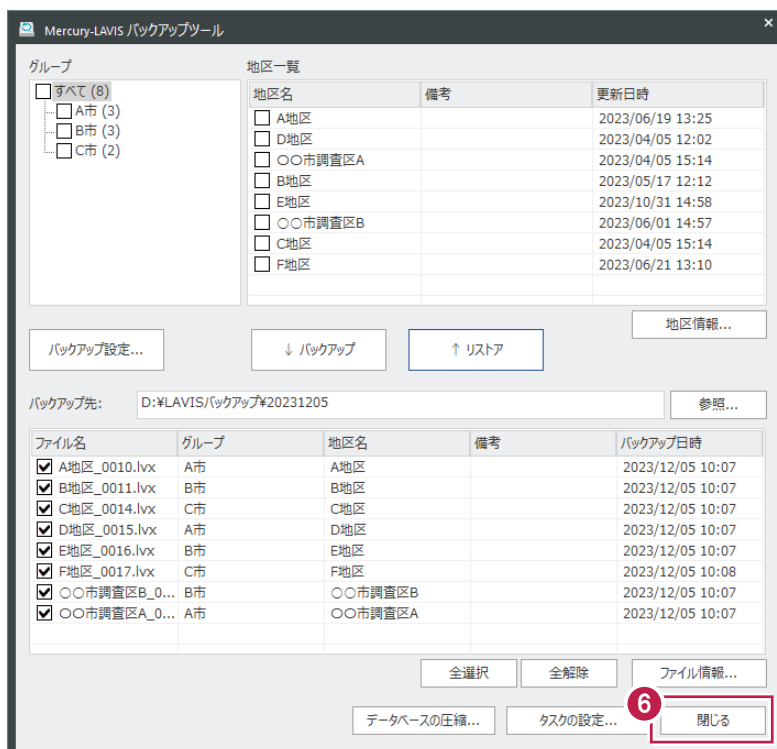
※ リストアするデータによっては、時間がかかる場合があります。



5 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



6 [閉じる] をクリックして、終了します。



6-3 全設定のリストア（復元）

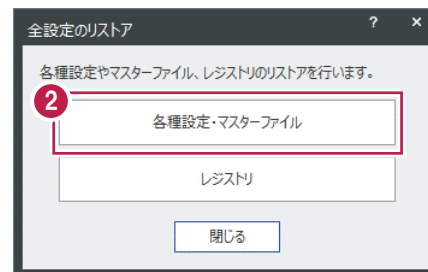
各種設定やマスターファイル、レジストリをリストア（復元）する手順です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

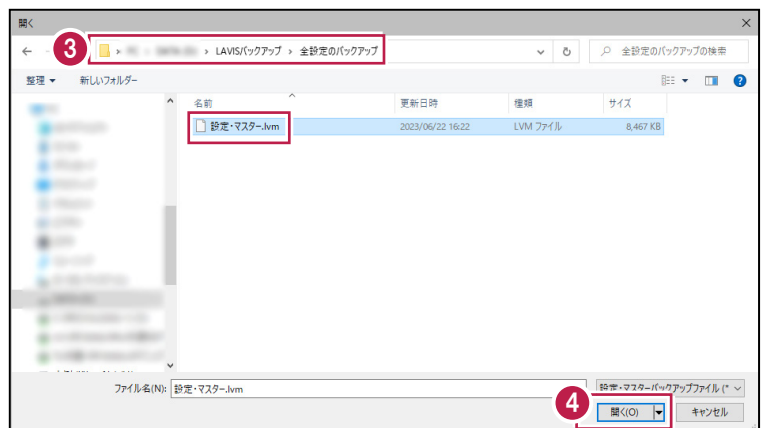
- 1 [ツール] - [リストア] - [全設定] をクリックします。



- 2 [全設定のリストア] ダイアログが表示されます。
[各種設定・マスターファイル] をクリックします。

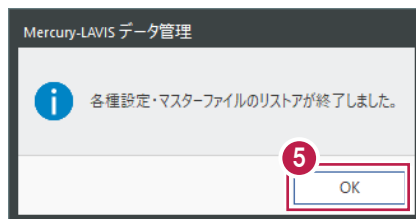


- 3 [開く] ダイアログが表示されます。
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定します。

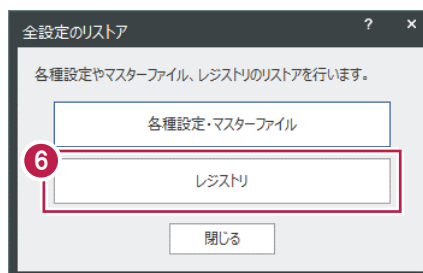


- 4 [開く] をクリックします。
リストアが開始されます。

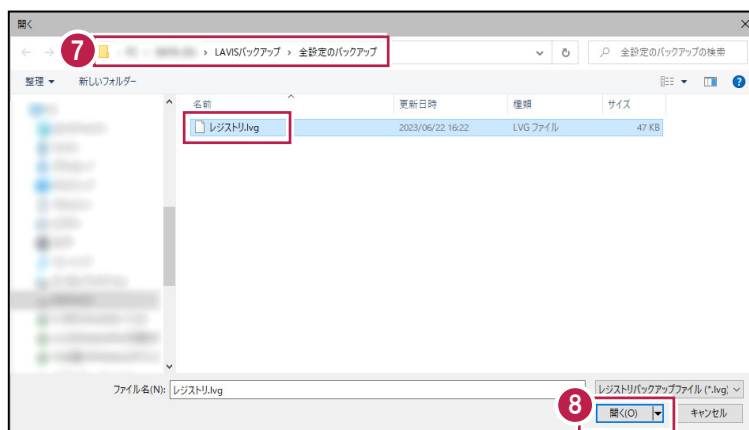
5 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



6 [レジストリ] をクリックします。



7 [開く] ダイアログが表示されます。
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定
します。



8 [開く] をクリックします。
リストアが開始されます。

9 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



10 [閉じる] をクリックして、終了します。



6-4 ユーザー定義帳票のリストア（復元）

ユーザー定義帳票とカスタマイズ帳票をリストア（復元）する手順です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [リストア]
- [ユーザー定義帳票] をクリックします。

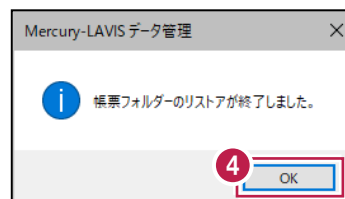


- 2 [開く] ダイアログが表示されます。
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定します。



- 3 [開く] をクリックします。
リストアが開始されます。

- 4 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



6-5 相続関係図のリストア（復元）

「相続関係図プログラム」のデータをリストア（復元）する手順です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [相続関係図] - [リストア] をクリックします。

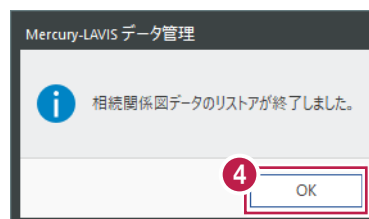


- 2 [開く] ダイアログが表示されます。
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定します。

- 3 [開く] をクリックします。
リストアが開始されます。



- 4 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。





新マシンでの作業

7

セキュリティソフトの除外設定

セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

7-1 除外設定の手順書を開く

1 お客様サポートの「インストール/認証・起動」をクリックします。

福井コンピュータ株式会社 Customer Support お客様サポート

お客様サポート
Mercury-LAVIS

※現在Mercury-LAVISをご利用いただいているお客様につきましてはFCアカウント提供を行っております。詳しくは、FCアカウントのお知らせをご参照ください

お客様の「困った!」を解決し

マニュアル インストール / 認証・起動

初めて操作される方向けに、製品の基本的な操作マニュアルを用意しています。

サポートセンターに日々寄せられるインストール、ネット認証などに関するご質問をご覧いただけます。

2 「その他お困りごと」をクリックします。

福井コンピュータ株式会社 Customer Support お客様サポート

お客様サポート
Mercury-LAVIS

マニュアル > インストール / 認証・起動 > よくある質問 > 電話・リモートサポート >

プログラム更新 >

インストール 認証・起動 その他お困りごと

新規インストール・バージョンアップ等 ネット認証ライセンス・プロテクト等 その他システムに関するお困りごと等

インストール

製品の新規セットアップ、バージョンアップなどの手順はこちらをご覧ください。

- ③ 「セキュリティソフトの除外設定について」の「セキュリティソフトの除外設定方法」をクリックします。
内容を確認してください。



- ④ セキュリティソフトの除外設定の手順書が表示されます。
お使いになっているセキュリティソフトに合わせて「Q:」をクリックします。
手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。





クライアントでの作業

8

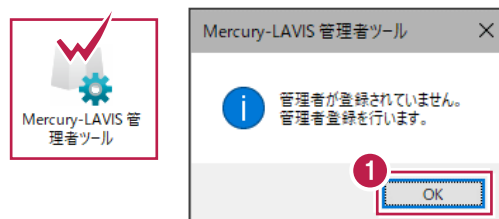
サーバーの参照先変更

クライアントマシンのサーバーの参照先を変更します。
すべてのクライアントマシンで以下の操作をおこなってください。

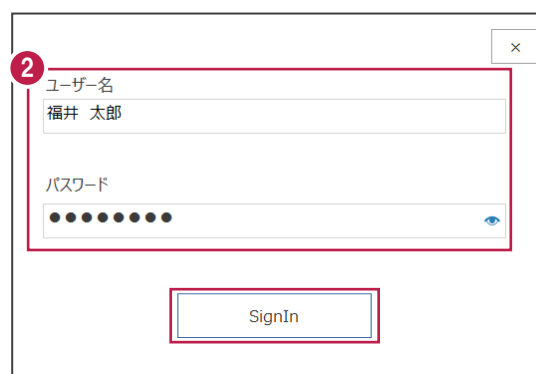
8-1 クライアントマシンのサーバーの参照先を変更する

サーバーの参照先変更は、すべてのクライアントPCでおこないます。

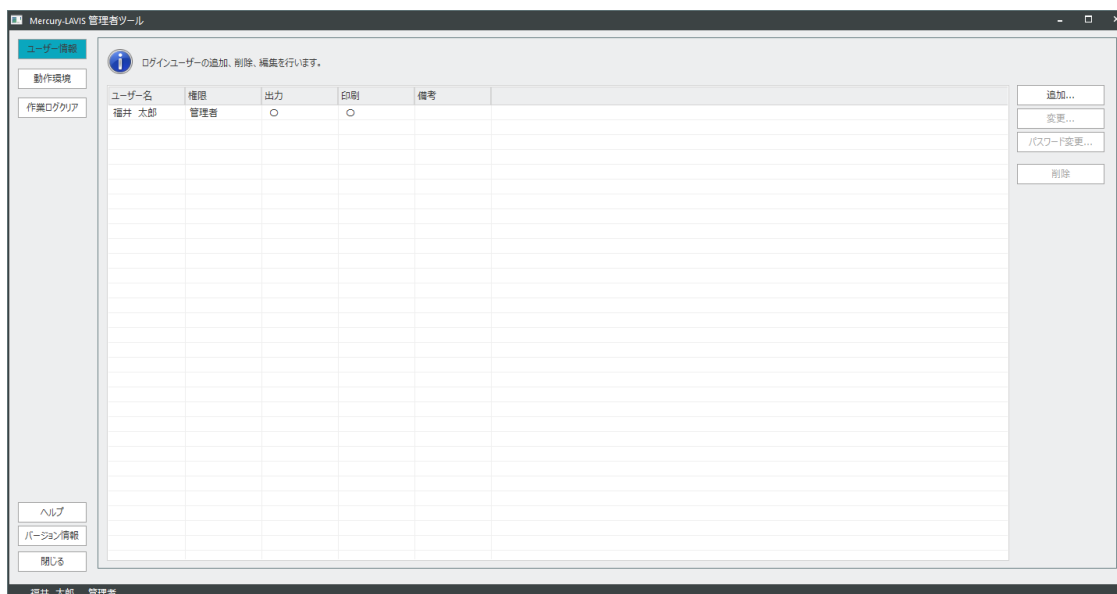
- 1 デスクトップの [Mercury-LAVIS 管理者ツール] のアイコンをダブルクリックして起動します。



- 2 管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力して、[SignIn] をクリックします。

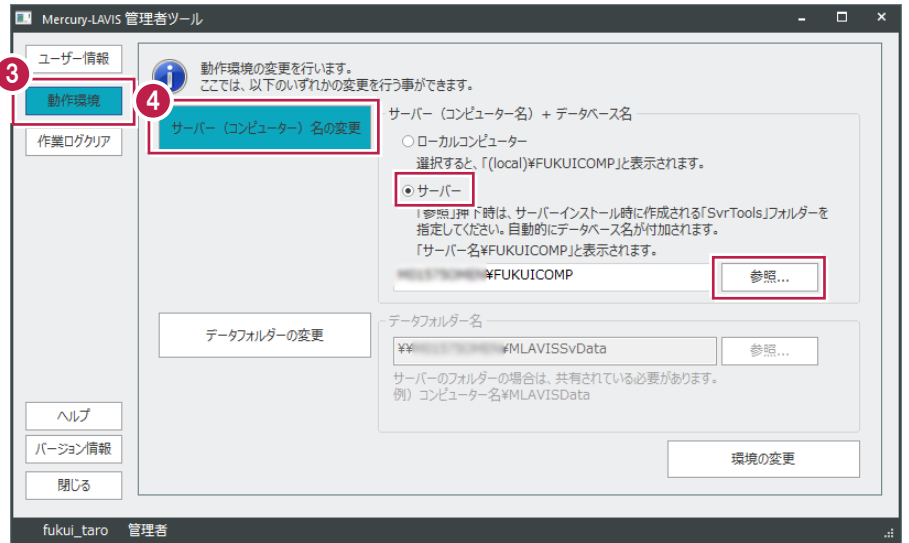


- 3 「管理者ツール」が起動します。



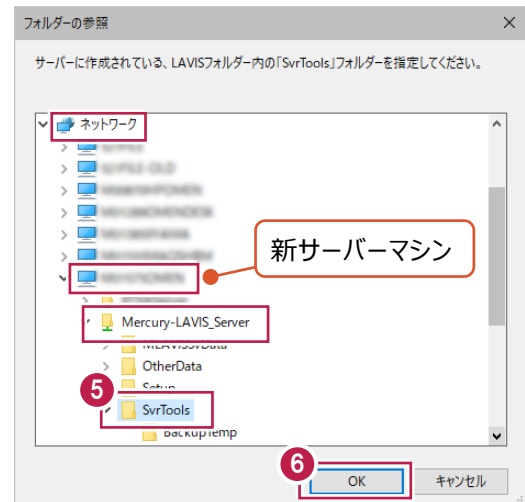
3 [動作環境] をクリックします。

4 [サーバー (コンピューター) 名の変更] で、
[サーバー] を選択し、[参照] をクリックします。

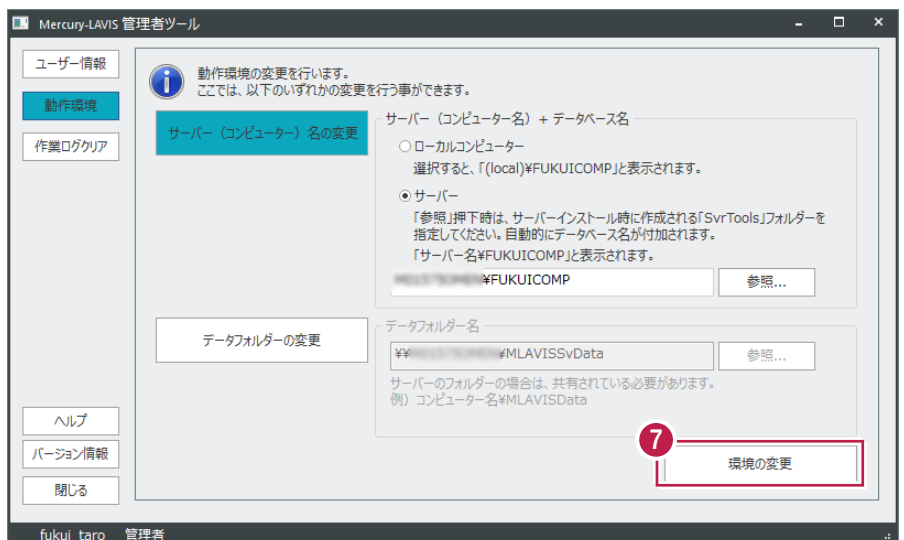


5 「ネットワーク」から新サーバーマシンを参照して、
「Mercury-LAVIS_Server¥SvrTools」
フォルダーを指定します。

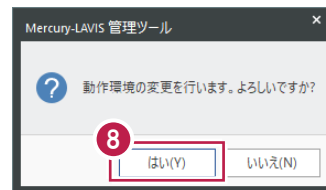
6 [OK] をクリックします。



7 [環境の変更] をクリックします。



8 [はい] をクリックします。



9 [OK] をクリックします。



以上で、クライアントマシンのサーバー参照先変更は完了です。